

宮工第3-2号

上越市総合体育館等大規模改修

電気設備工事

上越市

図面リスト

上越市総合体育館・渡り廊下					
図面No.	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
E-総01	図面リスト	—	E-総32	電灯設備(換気電源分岐)図 改修前・改修後 2階平面図	1/200
E-総02	電気設備 特記仕様書(No. 1)	—	E-総33	電灯設備(換気電源分岐)図 改修前・改修後 3階平面図	1/200
E-総03	電気設備 特記仕様書(No. 2)	—	E-総34	電灯設備(空調電源分岐)図 改修前・改修後 1階平面図	1/200
E-総04	改修前 案内図・配置図	1/300	E-総35	電灯設備(空調電源分岐)図 改修前・改修後 2階平面図	1/200
E-総05	改修後 案内図・配置図	1/300	E-総36	電灯設備(空調電源分岐)図 改修前・改修後 3階平面図	1/200
E-総06	改修前・改修後 単線結線図	—	E-総37	電気暖房電源設備図 改修前・改修後 1階平面図	1/200
E-総07	電気室平面詳細図・第1柱装柱図	1/50	E-総38	電気暖房電源設備図 改修前・改修後 2階平面図	1/200
E-総08	改修前動力盤結線図(No. 1)	—	E-総39	電気暖房電源設備図 改修前・改修後 3階平面図	1/200
E-総09	改修前動力盤結線図(No. 2)	—	E-総40	避雷針設備図 改修前・改修後 1階平面図	1/200
E-総10	改修後動力盤結線図	—	E-総41	避雷針設備図 改修前・改修後 2階平面図	1/200
E-総11	改修前・改修後 電灯盤結線図(No. 1)	—	E-総42	避雷針設備図 改修前・改修後 3階平面図	1/200
E-総12	改修前・改修後 電灯盤結線図(No. 2)	—	E-総43	避雷針設備図 改修前・改修後 R階平面図	1/200
E-総13	幹線設備図 改修前・改修後 1階平面図	1/200	E-総44	拡声・情報・時刻表示設備姿図	—
E-総14	幹線設備図 改修前・改修後 2階平面図	1/200	E-総45	1階事務室機器展開図	1/50
E-総15	幹線設備図 改修前・改修後 3階平面図	1/200	E-総46	電話・テレビ共同受信設備図 改修前・改修後 1階平面図	1/200
E-総16	動力設備図 改修前・改修後 1階平面図	1/200	E-総47	電話・テレビ共同受信設備図 改修前・改修後 2階平面図	1/200
E-総17	動力設備図 改修前・改修後 2階平面図	1/200	E-総48	情報・インターホン設備図 改修前・改修後 1階平面図	1/200
E-総18	動力設備図 改修前・改修後 3階平面図	1/200	E-総49	情報・インターホン設備図 改修前・改修後 2階平面図	1/200
E-総19	照明器具表	—	E-総50	情報・インターホン設備図 改修前・改修後 3階平面図	1/200
E-総20	電灯設備(電灯分岐)図 改修前・改修後 1階平面図	1/200	E-総51	拡声設備系統図	—
E-総21	電灯設備(電灯分岐)図 改修前・改修後 2階平面図	1/200	E-総52	拡声・電気時計設備図 改修前・改修後 1階平面図	1/200
E-総22	電灯設備(電灯分岐)図 改修前・改修後 3階平面図	1/200	E-総53	拡声・電気時計設備図 改修前・改修後 2階平面図	1/200
E-総23	電灯設備(非常照明・誘導灯分岐)図 改修前・改修後 1階平面図	1/200	E-総54	拡声・電気時計設備図 改修前・改修後 3階平面図	1/200
E-総24	電灯設備(非常照明・誘導灯分岐)図 改修前・改修後 2階平面図	1/200	E-総55	火災報知設備図 改修前・改修後 1階平面図	1/200
E-総25	電灯設備(非常照明・誘導灯分岐)図 改修前・改修後 3階平面図	1/200	E-総56	火災報知設備図 改修前・改修後 2階平面図	1/200
E-総26	電灯設備(非常照明・誘導灯分岐)図 改修前・改修後 3階上部平面図	1/200	E-総57	火災報知設備図 改修前・改修後 3階平面図	1/200
E-総27	電灯設備(コンセント分岐)図 改修前・改修後 1階平面図	1/200	E-総58	火災報知設備図・系統図 改修後 3階上部平面図	1/200
E-総28	電灯設備(コンセント分岐)図 改修前・改修後 2階平面図	1/200	A-総20	立面図 改修後 (建築参考図)	1/200
E-総29	電灯設備(コンセント分岐)図 改修前・改修後 3階平面図	1/200	A-総25	矩計図(1) 改修前・改修後 (建築参考図)	1/50
E-総30	電灯設備(コンセント分岐)図 改修前・改修後 3階上部平面図	1/200	A-総26	矩計図(2) 改修前・改修後 (建築参考図)	1/50
E-総31	電灯設備(換気電源分岐)図 改修前・改修後 1階平面図	1/200	A-総32	階段室B 平面・断面詳細図 改修後 (建築参考図)	1/50 1/30

上越市勤労身体障害者体育館		
図面No.	図面名称	縮尺
E-勤01	改修前・改修後 盤結線図	—
E-勤02	幹線・動力設備図 改修前・改修後 1階平面図	1/100
E-勤03	電灯設備凡例・照明器具表	—
E-勤04	電灯設備(電灯分岐)図 改修前・改修後 1階平面図	1/100
E-勤05	非常照明・誘導灯・非常警報設備図 改修前・改修後 1階平面図	1/100
E-勤06	換気電源設備図 改修前・改修後 1階平面図	1/100
E-勤07	電灯設備(コンセント分岐)図 改修前・改修後 1階平面図	1/100
E-勤08	通信・拡声設備姿図	—
E-勤09	通信設備図 改修前・改修後 1階平面図	1/100
E-勤10	拡声設備図 改修前・改修後 1階平面図	1/100
A-勤08	断面図 (建築参考図)	1/100

備考	1. 図中、薄い機器・器具・配管・配線は、既存品現状のままとする	第一・護国共同企業体 <small>(代表) (有)第一設計総合事務所 管理建築士・一級建築士登録 第106046号 齊藤博</small>	総括・一級建築士	担当事務所長	工事名称 上越市総合体育館等大規模改修電気設備工事	図面名称 上越市総合体育館渡り廊下・上越勤労身体障害者体育館 図面リスト	縮尺 A1版 A3版	整理分類番号 年月日 令和3年2月	図面番号
	2. 図中、配管配線撤去で、コンクリート内配管部分は、電線のみ撤去・配管は埋め殺しとする。		第106046号 <small>(有)第一設計総合事務所 南第一設計総合事務所 齊藤博</small>	基本・意匠・構造・設備 <small>渡辺設備設計事務所 渡辺信行</small>			建・構・電・衛 総01 浄・厨・外・空 総58 合計枚数 枚		

工事名称	上越市総合体育館等大規模改修電気設備工事		令和 3 年 2 月 (全 73 枚)
工 事 概 要			
1. 工事場所	上越市木目1丁目地内	2. 敷地面積	8,064.11㎡
3. 工事内容	上越市総合体育館等大規模改修工事における電気設備工事一式 Ⅰ. 上越市総合体育館・渡り廊下 … 電灯設備、動力設備、受変電設備、拡声設備など各一式 Ⅱ. 上越勤労身体障害者体育館 … 電灯設備、動力設備、拡声設備、誘導支援設備など各一式 Ⅲ. 発生材処理 … 一式		

4. 工事種目 (建物概要)					
建物名称	工事種別	構造	階数	延べ面積	消防令別表第一
上越市総合体育館	改修	RC造 屋根3造	3階	4,955㎡	(15)
勤労身体障害者体育館	改修	RC造	1階	998㎡	(15)

- 仕 様 書
- Ⅰ. 共通仕様
- 本共通仕様及び特記仕様に記載されていない事項は、次による。
 - 新築及び増築に係る電気設備工事においては、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事編) 平成31年版」(以下「仕様」という。) 及び「国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修 公共建築設備工事標準図 (電気設備工事編) 平成31年版」(以下「標準図」という。) による。
 - 改修に係る電気設備工事においては、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書 (電気設備工事編) 平成31年版」(以下「改修仕様」という。) 及び標準図による。ただし、改修仕様に記載されていない事項は、仕様による。
 - 仕様及び改修仕様に用いられている用語を、次のとおり読み替える。
 - (1) 「工事請負契約書」を「上越市財務規則 (昭和46年4月29日上越市規則第35号) 別記 (第173条関係) 建設工事請負基準約款」(以下「約款」という。) に読み替える。
 - (2) 「監督職員」を「監督員」に読み替える。
 - 次の各号に該当する仕様及び改修仕様の項目について、仕様及び改修仕様の規定を別表に置き換えて適用する。(以下「[]」は、改修仕様の項目を表示)
 - (1) 第1編 第1章 1.1.2 [1.1.2] 用語の定義の(7)、(8)及び(7)
 - (2) " 1.4.2 [1.4.2] 機材の品質等の(1)及び(2)
 - (3) " 1.4.4 [1.4.5] 機材の検査等の(1)
 - (4) " 1.6.1 [1.10.1] 工事検査の(2)及び(3)
 - 仕様及び改修仕様の次の項目の規定は適用しない。
 - 第1編 第1章 1.1.2 [1.1.2] 用語の定義の(7)
 - " 1.6.2 [1.10.2] 技術検査

号	項目	置き換え後の仕様及び改修仕様の規定
	第1編 一般共通事項 第1章 一般事項	
(1)	1.1.2 [1.1.2] 用語の定義	(7) 「監督員」とは、約款第10条の規定により受注者に通知された者をいう。 (8) 「書面」とは発行年月日が記載され、署名又は捺印した書又は新潟県CALSシステム上で電子決裁処理された電磁的記録をいう。
(2)	1.4.2 [1.4.2] 機材の品質等	(9) 「工事検査」とは、約款に規定する次の各事項の確認をするために発注者又は検査職員が行う検査をいい、工事の施工体制、施工状況、出来形、品質及び出来ばえの検査を含む。(ただし、②に係る検査を除く。) ① 工事の完成 (約款第32条) ② 部分払の請求に係る出来形部分又は部分払指定工事材料等 (約款第38条) ③ 部分引渡しに指定部分に係る工事の完成 (約款第39条) ④ 契約の解除時における出来形部分 (約款第47条) ⑤ 必要がある認められたときの臨時検査 (約款第49条)
(3)	1.4.4 [1.4.5] 機材の検査等	(1) 工事に使用する機材は、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿 (一般社団法人 公共建築協会) 契約時の最新版」の名簿に記載されている品目については、当該名簿に記載されている材料又は製造所の製品とするほか、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とする。ただし、仮設に使用する機材は、新品に限らない。 (2) 使用する機材が、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を監督員に提出する。 ただし、「JIS (日本工業規格) に該当するものであることを示す表示のある機材を使用する場合及びあらかじめ監督員の承諾を受けた場合 (次の(7)から(9)までのいずれかに該当する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受けたとみなすことができる。) は、資料の提出を省略することができる。 (7) 建築基準法その他の認定品で、マーク等の確認ができる機材 (8) 建築基準法その他の認定品と指定された材料で、工事完成検査時又は工事写真で品質、性能を証明するマーク等を確認できる場合
(4)	1.6.1 [1.10.1] 工事検査	(2) 約款に規定する部分払を請求する場合は、当該請求に係る出来形部分等の算出方法について監督員の指示を受けるものとする。 (3) (1)から(2)までの通知又は請求に基づく検査並びに約款第47条及び第49条に規定する検査は、発注者から通知された検査日に検査を受ける。

Ⅱ. 特記仕様			
凡 例			
(1) 章と項目は、番号に○印のついたものを適用する。特記事項は、・に○印のついたものを適用する。			
(2) 特記事項で○印のない場合は、※印のあるものを適用する。○印と※印のある場合は、○印のあるものを適用する。			
○印と※印のある場合は、両方を適用する。			
(3) 根拠項目の[a-b.c.d]は、構仕の第a編b章c節d項を表す。根拠項目の[a-b.c.d]は、改修構仕の第a編b章c節d項を表す。			
章	項目	特記事項	根拠項目
1 一 般 事 項	1 工事実績情報の登録	請負工事費500万円以上の場合登録する。 ※ 無 ・ 有 (工期 令和 年 月 日)	(1-1.4.) [1-1.4.]
	2 概成工期	着手 令和 年 月 日 ~ 終了 令和 年 月 日 までとする。	(1-1.4.) [1-1.4.]
	3 内部の工期期間等	次の作業は内部工事着手前に入る。ただし、着手日、作業箇所は施設及び監督員と協議のうえ決定する。 ※ 現場調査	(1-1.2.1) [1-1.2.1]
	4 監理技術者の要件	請負工事費が3億円以上の場合は、電気工事の施工に関し10年以上の実務経験を有すること。契約電力500KW以上の電気工作物においても、次の者により施工をおこなうこと。 ※ 第1種電気工事士 ・ 特種電気工事資格者 (非常用予備発電装置) ・ 認定電気工事従事者	(1-1.3.9) [1-1.9.1]
	5 電気工事士	<表-4> 「発生材の処理等」とのり。	(1-1.9.1) [1-1.7.2]
	6 発生材の処理等	下記のものを作成し提出する。 ※設計図の図面目録と同一の図面一式 ※施工図一式 ※建築物の保全に関する説明書 (取扱説明書を含む。)	(1-1.9.1) [1-1.7.2]
	7 完成図等	※下記による作成方法、提出部数とする。 ・ CADデータ化し、電子媒体 (CD又はDVD) にて提出する。 ・ 図面は原因サイズに製本し、・完成図 2部 ・施工図 1部 提出 (表紙及び背表紙 (可能な場合に限り) に工事名、受注者名を入れること) ・ 説明書はファイルに綴り ※ 2部 ・ 部 提出 ・ その他監督員が指示した図等 ・ 図 部 提出	(1-1.11.2) [1-1.7.3] [1-1.11.3]
	8 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。	[1-1.11.2]
	9 工事完成写真	工事完成後、整理のうえ監督員に提出する。 提出部数 2部	(1-1.7.3) [1-1.11.3]
	10 工事施工状況写真	工事施工状況写真の撮影は、工事に係る材料、施工及び品質管理の状況を確認できるように行うものとし、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 工事写真の撮り方 建築設備改訂第3版」を参考に、撮影計画書を作成して、監督員に提出する。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、撮影計画書の作成を省略できる。 提出部数 1部	(1-1.11.3) [1-1.11.3]
	11 他工事との取合い	<表-5> 工事区分表による。	(1-2.1.1) [1-2.2.2] [1-2.2.3] [1-2.2.7]
2 共 通 工 事 等	1 足場・さん積等	※ 別契約で関係受注者が設置した物は、無償で使用できる。 ・ 本工事で設置する。	(1-2.1.1) [1-2.2.2]
	2 仮設間仕切り	※ 別途工事 ・ 本工事	[1-2.2.3]
	3 監督員事務所等	※ 設けない ・ 既設建物内の一部を使用する ・ 仮設事務所内に監督員空間を m程度確保する 監督員が使用できる備品として、次のものを工事期間中現場に用意し、貸与する。 ・ 保安帽 ケ ・ 雨具 着 ・ 長靴 足	[1-2.2.7]
	4 工事用水	構内既存の施設 ※ 利用できる (※ 有償 ・ 無償) ・ 利用できない	[1-2.2.4]
	5 工事用電力	構内既存の施設 ※ 利用できる (※ 有償 ・ 無償) ・ 利用できない ○ 既設設備に電力計を設置する ・ 発電機を使用する	[1-2.2.4]
	6 仮設建物等	現場事務所、倉庫、下小庫等の仮設建物の位置はあらかじめ監督員の承諾を受ける。すべて受注者の負担とする。	[1-2.2.8]
	7 残土処理	※ 構内指示の場所に敷き均し ・ 構外搬出適切処理	(2-2.1.13)
	8 耐震施工	機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針 (国土交通省 国土技術政策総合研究所監修) 2014年版」による。 (1) 設計用水平地震力 機器の重量 [kg f] に、<表-1>設計用標準水平地震を乗じたものとする。 (2) 設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 プルボックス 閉止塗装箇所 ※ 天井いんべい部 ※ シャフト内 上記以外のプルボックス ※ 焼付塗装 ※ 調合ペイント 2回塗 金属製露出電線管塗装箇所 ※ 屋外 ・ 電気機械室 ・ シャフト 図面に特記のあるもの及び特殊なものを除き、樹脂製 電力設備 ジョイントボックス用 ・ 丸形 ※ 角形 通信設備 ジョイントボックス用 ・ 丸形 ・ 角形 ジョイントボックス並びに器具を実装しないプレートには略称を用いて用途を表示する。 分電盤 ※ 指定色 ・ JEM1135 制御盤、配電盤 ※ 指定色 ・ JEM1135 長さ1m以上の入線しない管路には1.2mm以上の導入線を挿入する。 (室名) は直天井を示し、() なしの室名は二重天井を示す。 改修工事においては極力遮蔽にむけ、やむを得ず露出となる部分は予め施工図を作成し監督員の承諾を受けること。	(2-2.1.14) [1-2.7.1] [1-2.8.1] [1-2.9.1] [2-2.2.9] [1-1.4.3] [1-2.14.1]
	9 塗装工事	ブルボックス 閉止塗装箇所 ※ 天井いんべい部 ※ シャフト内 上記以外のプルボックス ※ 焼付塗装 ※ 調合ペイント 2回塗 金属製露出電線管塗装箇所 ※ 屋外 ・ 電気機械室 ・ シャフト 図面に特記のあるもの及び特殊なものを除き、樹脂製 電力設備 ジョイントボックス用 ・ 丸形 ※ 角形 通信設備 ジョイントボックス用 ・ 丸形 ・ 角形 ジョイントボックス並びに器具を実装しないプレートには略称を用いて用途を表示する。 分電盤 ※ 指定色 ・ JEM1135 制御盤、配電盤 ※ 指定色 ・ JEM1135 長さ1m以上の入線しない管路には1.2mm以上の導入線を挿入する。 (室名) は直天井を示し、() なしの室名は二重天井を示す。 改修工事においては極力遮蔽にむけ、やむを得ず露出となる部分は予め施工図を作成し監督員の承諾を受けること。	(1-2.7.1) [1-2.8.1] [1-2.9.1] [2-2.2.9] [1-1.4.3] [1-2.14.1]
	10 ブラッシュプレート	電力設備 ジョイントボックス用 ・ 丸形 ※ 角形 通信設備 ジョイントボックス用 ・ 丸形 ・ 角形 ジョイントボックス並びに器具を実装しないプレートには略称を用いて用途を表示する。 分電盤 ※ 指定色 ・ JEM1135 制御盤、配電盤 ※ 指定色 ・ JEM1135 長さ1m以上の入線しない管路には1.2mm以上の導入線を挿入する。 (室名) は直天井を示し、() なしの室名は二重天井を示す。 改修工事においては極力遮蔽にむけ、やむを得ず露出となる部分は予め施工図を作成し監督員の承諾を受けること。	(1-2.7.1) [1-2.8.1] [1-2.9.1] [2-2.2.9] [1-1.4.3] [1-2.14.1]
	11 プレートの用途表示	電力設備 ジョイントボックス用 ・ 丸形 ※ 角形 通信設備 ジョイントボックス用 ・ 丸形 ・ 角形 ジョイントボックス並びに器具を実装しないプレートには略称を用いて用途を表示する。 分電盤 ※ 指定色 ・ JEM1135 制御盤、配電盤 ※ 指定色 ・ JEM1135 長さ1m以上の入線しない管路には1.2mm以上の導入線を挿入する。 (室名) は直天井を示し、() なしの室名は二重天井を示す。 改修工事においては極力遮蔽にむけ、やむを得ず露出となる部分は予め施工図を作成し監督員の承諾を受けること。	(1-2.7.1) [1-2.8.1] [1-2.9.1] [2-2.2.9] [1-1.4.3] [1-2.14.1]
12 呼び線	電力設備 ジョイントボックス用 ・ 丸形 ※ 角形 通信設備 ジョイントボックス用 ・ 丸形 ・ 角形 ジョイントボックス並びに器具を実装しないプレートには略称を用いて用途を表示する。 分電盤 ※ 指定色 ・ JEM1135 制御盤、配電盤 ※ 指定色 ・ JEM1135 長さ1m以上の入線しない管路には1.2mm以上の導入線を挿入する。 (室名) は直天井を示し、() なしの室名は二重天井を示す。 改修工事においては極力遮蔽にむけ、やむを得ず露出となる部分は予め施工図を作成し監督員の承諾を受けること。	(2-2.2.9) [2-2.2.9]	
13 露出配管配線	電力設備 ジョイントボックス用 ・ 丸形 ※ 角形 通信設備 ジョイントボックス用 ・ 丸形 ・ 角形 ジョイントボックス並びに器具を実装しないプレートには略称を用いて用途を表示する。 分電盤 ※ 指定色 ・ JEM1135 制御盤、配電盤 ※ 指定色 ・ JEM1135 長さ1m以上の入線しない管路には1.2mm以上の導入線を挿入する。 (室名) は直天井を示し、() なしの室名は二重天井を示す。 改修工事においては極力遮蔽にむけ、やむを得ず露出となる部分は予め施工図を作成し監督員の承諾を受けること。	(2-2.2.9) [2-2.2.9]	
14 再使用機器等	電力設備 ジョイントボックス用 ・ 丸形 ※ 角形 通信設備 ジョイントボックス用 ・ 丸形 ・ 角形 ジョイントボックス並びに器具を実装しないプレートには略称を用いて用途を表示する。 分電盤 ※ 指定色 ・ JEM1135 制御盤、配電盤 ※ 指定色 ・ JEM1135 長さ1m以上の入線しない管路には1.2mm以上の導入線を挿入する。 (室名) は直天井を示し、() なしの室名は二重天井を示す。 改修工事においては極力遮蔽にむけ、やむを得ず露出となる部分は予め施工図を作成し監督員の承諾を受けること。	[1-1.4.3]	
15 仮設備	電力設備 ジョイントボックス用 ・ 丸形 ※ 角形 通信設備 ジョイントボックス用 ・ 丸形 ・ 角形 ジョイントボックス並びに器具を実装しないプレートには略称を用いて用途を表示する。 分電盤 ※ 指定色 ・ JEM1135 制御盤、配電盤 ※ 指定色 ・ JEM1135 長さ1m以上の入線しない管路には1.2mm以上の導入線を挿入する。 (室名) は直天井を示し、() なしの室名は二重天井を示す。 改修工事においては極力遮蔽にむけ、やむを得ず露出となる部分は予め施工図を作成し監督員の承諾を受けること。	[1-2.14.1]	
3 構 内 配 電 線 路	18 あと施工アンカー	<表-2> あと施工アンカーによる。	[1-2.12.3]
	19 機器取付高	<表-6> 機器取付高による。	[1-2.12.3]
	20 用語の説明	共通仕様の用語の定義によるほか<表-3>用語の説明による。	[1-2.12.3]
	1 電気方式	幹線 ○ 高圧 3相3線式 6KV ○ 低圧 3相3線式 (200V) ○ 低圧 単相3線式 (100・200V) ・ 低圧 単相 線式 (V) ※ 地中線式 (※ 管路式 ・ 直埋式) ・ 架空式 ※ 設ける。	(2-2.11.1) [2-2.12.6]
	2 配線方式	※ 設ける。	[2-2.12.6]
	3 ケーブル埋設シート	※ 設ける。	[2-2.12.6]
	4 埋設深	※ 高圧 GL-L 0.6 m ○ 低圧 GL-L 0.6 m	[2-2.13.1]
	5 メッセンジャー線	※ 第2種亜鉛メッキ鋼線 ・ 一般形 ・ 耐塩形 ・ 単独 ○ 共用	[2-2.14.6]
	6 装柱機材	・ 一般形 ・ 耐塩形 ・ 単独 ○ 共用	[2-2.14.6]
	7 外灯接地	※ 以下箇所について省略する (・ 電柱 ※ 外灯 ※MH、HH) ・ 省略しない ※ 設ける	(2-2.13.14) [2-2.15.14]
8 配電機材の省略	※ 以下箇所について省略する (・ 電柱 ※ 外灯 ※MH、HH) ・ 省略しない ※ 設ける	(2-2.13.14) [2-2.15.14]	
9 電柱名札	※ 設ける	[2-2.15.14]	
4 接 地	1 種別	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 避雷器用	(2-2.13.1) [2-2.15.1]
	2 施工方法	・ ELCB	[2-2.15.1]
	3 接地極	・ 一括 ・ 単独 ・ メッシュ ・ 接地極埋設 ・ 構造体利用	[2-2.15.1]
5 電 灯 設 備	1 電気方式	幹線 ○ 単相3線式 200V/100V ・ 直流2線式 100V 分線 ○ 単相2線式 (100V ○ 200V) ・ 直流2線式 100V	(2-2.14.1) [2-2.16.1]
	2 配線用遮断器	定格遮断電流は、最小のもので対称値 (2,500A) 以上とする。	[2-2.16.1]
	3 非常用照明電源	○ 電池内蔵形 ・ 電源別置形	[2-2.16.1]
	4 フロアコンセント	○ 収納形 ・ 上下動形 ○ OAフロア用 (ハーネスOAタップ)	[2-2.16.1]
	5 予備ブレーカ・ハース	予備ブレーカ (※ 20% ○ 図示) ハース (※ なし ○ 図示)	[2-2.16.1]
6 積算計器	・ 無検定 ・ 検定付	[2-2.16.1]	
章	6 動力設備	1 電気方式 幹線 ○ 3相 3線式 ・ 電圧 ○ 200V ・ 400V ○ 単独接地 ○ 共同接地 ○ 共通母線式 ・ 金属管接地式) 2 電動機の接地 3 配線用遮断器 4 予備ブレーカ・ハース 5 積算計器	(2-2.15.1) [2-2.17.1]
	7 避雷保護設備	1 受雷部 2 避雷導線 3 接地極 4 外部雷保護 5 内部雷保護システム	(2-2.17.1) [2-2.19.1]
	8 受変装置	1 電気方式 2 区分開閉器 3 盤形式 4 主遮断装置 5 操作方式 6 変圧器 7 高圧コンデンサ 8 リアクトル 9 避雷器 10 絶縁監視装置 11 積算計器	(3-1.1.1) ? (3-2.3.3) [3-1.1.1] [3-2.4.3]
	9 直流電源装置	用途 ・ 非常用照明器具電源及び受変電設備制御電源共用 ・ 受変電設備制御電源専用 蓄電池 ・ HS形鉛蓄電池 ・ MS形鉛蓄電池 長寿命MSE形鉛蓄電池 ・ リチウム二次電池 整流器容量 (A) 負荷補償装置 (A)	(4-1.1.1) ? (4-3.2.2) [4-1.1.1] [4-2.4.2]
	10 静電防止形電源装置	用途 ・ 非常用照明器具電源及び受変電設備制御電源共用 ・ 受変電設備制御電源専用 蓄電池 ・ HS形鉛蓄電池 ・ MS形鉛蓄電池 長寿命MSE形鉛蓄電池 ・ リチウム二次電池 整流器容量 (A) 負荷補償装置 (A)	(4-1.1.1) ? (4-3.2.2) [4-1.1.1] [4-2.4.2]
	11 UPS装置	用途 () 出力電気方式 ・ 単相2線式 ・ 単相3線式 ・ 3相3線式 出力電圧 ・ 100V ・ 100V/200V ・ 200V 定格出力 (KVA) 補償時間 (分以上) 給電方式 ・ 常時パワ ・ ラインインタラティブ ・ 常時商用給電	(5-1.1.1) ? (5-1.4.13) [5-1.1.1] [5-2.2.10]
	12 発電設備	1 形式 2 用途 3 発電機 4 原動機 5 燃料 6 制御方式 7 燃料小出槽 8 主燃料槽 9 排気系統配管 10 コージェネレーション 11 太陽光発電	(5-1.1.1) ? (5-1.4.13) [5-1.1.1] [5-2.2.10] [5-1.6.1] [5-2.4.1] [5-1.7.1] [5-2.5.1] [5-1.8.1] [5-1.9.1] [5-2.3.1] [5-2.6.1] [5-2.7.1]
	13 構内通信配線	1 配線方式 2 ケーブル埋設シート 3 埋設深 4 メッセンジャー線	(6-2.10.1) [6-2.11.4] [6-2.12.1] [6-2.13.4]
	14 構内情報通信設備	1 インターフェース 2 ポート数 3 通信プロトコル 4 PoE 5 無線LAN 6 時刻同期装置	(6-1.5.1) [6-2.16.1]
	15 交換装置	1 交換装置 2 局線応答方式 3 局線種別 4 回線数 5 電話機取付台数 6 局線表示盤 7 保安器接地 8 付加サービス機能 9 電源装置	(6-1.6.1) [6-2.16.1]
	16 構内交換装置	1 交換装置 2 局線応答方式 3 局線種別 4 回線数 5 電話機取付台数 6 局線表示盤 7 保安器接地 8 付加サービス機能 9 電源装置	(6-1.6.1) [6-2.16.1]
章	14 情報表示設備	1 情報表示装置 2 出退表示装置 3 時刻表示装置	(6-1.7.1) [6-2.17.1]
	15 拡声設備	1 用途 2 増倍器 3 出力 4 マイクスタンド 5 アンテナ	(6-1.9.1) [6-2.19.1]
	16 誘導支援装置	1 種別 2 接続方式 3 通話方式 4 テレビインターホン	(6-1.10.1) [6-2.20.1]
	17 テレビ伝送装置	1 通信用SPD	(6-1.11.1) [6-2.21.1]
	18 テレビ電話受発装置	1 ヘッドエンド 2 機器收容箱等	(6-1.12.1)
	19 視覚力メータ装置	1 伝送方式 2 通信用SPD 3 カメラ 4 モニタ装置 5 録画装置	(6-1.13.1) [6-2.22.1]
	20 火災報知・自動閉鎖・非常警報設備	1 受信機 2 副受信機 3 発信機 4 表示灯 5 消火栓ポンプ始動 6 感知器 7 運動制御器 8 自動閉鎖装置 9 非常警報装置	(6-1.16.1) [6-2.25.1] [6-1.17.1] [6-2.26.1] [6-1.18.1] [6-2.27.1]
	21 火災警報設備	1 受信機 2 検知器 3 中継器	(6-1.19.1) [6-2.28.1]
	22 防犯設備	1 工事範囲 2 受信機 3 警戒方式	(6-1.15.1) [6-2.24.1]
	23 試験	1 機材の試験 2 施工の試験	(1-1.5.7) [1-1.6.8] [2.2.20]
	24 臨検査	1 対象機器	(6-1.15.1) [6-2.24.1]

備考	
----	--

第一・護国共同企業体		総括・一級建築士	担当事務所長	工事名称
(代表) (有) 第一設計総合事務所	第106046号	基本・意匠・構造・設備	第106046号	上越市総合体育館等大規模改修電気設備工事
管理建築士一級建築士登録 第106046号 齊藤博	南第一設計総合事務所	周辺設備設計事務所	齊藤博	渡辺信行

図面名称	上越市総合体育館・渡り廊下
整理分類番号	電気設備 特記仕様書 (NO. 1)
図面番号	建・構・電・衛 浄・厨・外・空 総02 総58
年月日	令和3年2月
合計枚数	枚

14 情報表示設備	1 情報表示装置 2 出退表示装置 3 時刻表示装置	・ 発光タイプ式情報表示盤 ・ 液晶式情報表示盤 ・ プラズマ式情報表示盤 表示方法 ・ 発光タイプ式 ・ 液晶型 ・ プラズマ式 表示盤 ・ 壁掛形 ・ 卓上形 親時計形式 ・ 壁掛形 ・ ラック形 ・ 自立形 回線数 回線 時報子時計 親時計に ※ 内蔵 ・ 別置壁掛形 チャイム 親時計に ※ 内蔵 ・ 別置壁掛形 ・ 時報子時計に組込時刻補正 (※)	(6-1.7.1) [6-2.17.1]
15 拡声設備	1 用途 2 増倍器 3 出力 4 マイクスタンド 5 アンテナ	○ 一般放送用 ○ 非常放送用 ・ 併用 ・ 卓上形 ○ キャビネットラック形 デスク形 (240 W) ・ 床 shaped ・ 卓上形 (・ 高さ調整式 ・ 固定式) ・ ホイップ ・ FM (材質) ・ ワイヤレスマイク用	(6-1.9.1) [6-2.19.1]
16 誘導支援装置	1 種別 2 接続方式 3 通話方式 4 テレビインターホン	・ 障害者用インターホン ・ 外部受付用インターホン ○ H4等呼出装置 ・ インターホン ・ テレビインターホン 音声誘導装置 ・ 受付呼出装置 ○ 親子式 ・ 相互式 ・ 複合式 ○ 通話方式 ・ 同時通話式 ・ 撮像範囲固定式 ・ 撮像範囲調整式	(6-1.10.1) [6-2.20.1]
17 テレビ伝送装置	1 通信用SPD	・ カテゴリC2 ・ カテゴリD1	(6-1.11.1) [6-2.21.1]
18 テレビ電話受発装置	1 ヘッドエンド 2 機器收容箱等	・ 鋼板製 ・ アルミ製 ・ 合成樹脂製 ・ アルミダイキャスト製 ・ 鋳鉄製 ・ 鋼板製	(6-1.12.1)
19 視覚力メータ装置	1 伝送方式 2 通信用SPD 3 カメラ 4 モニタ装置 5 録画装置	・ アナログ伝送方式 ・ ネットワーク伝送方式 (※ TOP/IP) ・ デジタル同軸伝送方式 ・ カテゴリC2 ・ カテゴリD1 ・ レンズ (・ 標準レンズ ・ 広角レンズ ・ 望遠レンズ) ・ 電源供給方式 () ・ 解像度 () ・ デジタル記憶媒体容量 () ・ 時刻補正機能 (方式)	(6-1.13.1) [6-2.22.1]
20 火災報知・自動閉鎖・非常警報設備	1 受信機 2 副受信機 3 発信機 4 表示灯 5 消火栓ポンプ始動 6 感知器 7 運動制御器 8 自動閉鎖装置 9 非常警報装置	○ (P型 1 級 40 回線) ○ (・ 単独 ○ 複合) ○ (・ 自立形 ○ 壁掛形) ・ (・ 回線) ・ (・ 単独 ・ 複合) ・ (・ 自立形 ・ 壁掛形) ・ 専用給合盤 (※ 埋込形 ・ 露出形) に組込 ○ 消火栓組込 ・ 単独設置 ※ AC24V ・ DC24V ・ AC100V ○ 発信機と運動 ・ 単独押しボタンを設置 ※ 作動確認灯付とする ○ (10 回線) ○ (・ 単独 ○ 受信機と一体) ○ 防火戸用 (・ 本工事 ※ 別途) ・ (※ 磁石式 ・ レリーズ式) ○ 防火ダンパー用 (・ 本工事 ※ 別途) ○ 機器一体形 ・ 各機器単独設置 ・ 緊急地震速報対応	(6-1.16.1) [6-2.25.1] [6-1.17.1] [6-2.26.1] [6-1.18.1] [6-2.27.1]
21 火災警報設備	1 受信機 2 検知器 3 中継器	・ 本工事 ・ 別途 ・ (・ 形 回線 ※ 火報盤と一体形 ・ 単独) ・ 都市ガス用 ・ LPガス用 ・ (・ 回線)	(6-1.19.1) [6-2.28.1]
22 防犯設備	1 工事範囲 2 受信機 3 警戒方式	・ 配管工事 ・ 機器実装 ・ (・ 回線) ・ マグネット式 ・ 赤外線式	(6-1.15.1) [6-2.24.1]
23 試験	1 機材の試験 2 施工の試験	標準仕様書によるほか、次のものを追加する。 [1-1.5.7] [1-1.6.8] 標準仕様書によるほか、次のものを追加する。 [2.2.20] ○ 一般照度測定 (改修は工事前後の測定を行うこと) ※ 文部科学省学校環境衛生基準 ○ JIS照度基準 ・ 化学物質の濃度測定 測定する化学物質の種類 () 測定方法 () 測定対象室及び測定箇所数 () ・ 総合動作試験	

章	項目	特記事項	根拠項目
25 追加特記事項	① 公共事業労務費調査	※ 協力する。	
	② 工事監理方式	共同監理 ○ あり ※ なし	
	③ 適用基準等	・ 営繕工事電子納品要領案 (国土交通省大臣官庁官庁営繕部営繕計画課監修) ※ 工事運行マニュアル (上越市都市整備部建築住宅課作成)	
	④ 総合図	※ 作成する ・ 作成しない	
	⑤ 工事成績評定	受注者は、工事成績評定の対象となる工事施工において、自ら立案し実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。(様式等は工事運行マニュアルによる。)	
	⑥ アスベスト含有の建材	アスベスト含有の建材は使用しない。 ただし、やむを得ずアスベスト含有建材を使用する場合は事前に監督員と協議を行うこと。	
	7 中間技術検査	低入札価格調査基準価格を下回った額で契約となった場合は、中間技術検査を1回実施する。 検査時期については、工事現場着手前に監督員と協議すること。	
	⑧ 建設工事における市内下請及び資材発注について	1 下請発注について 受注者は本建設工事の施工に当たり、工事の一部を下請企業に預け負わせて施工しようとする場合には、下請企業を上越市内企業の中から選定するよう努めるものとする。 2 建設資材発注について 受注者は本建設工事の施工に当たり、建設資材を発注しようとする場合には、納入企業を上越市内企業の中から選定するよう努めなければならない。また、上越市産資材がある場合には、他に優先して使用するよう努めるものとする。	
	⑨ 火災保険等	建設工事請負約款第51条に基づき、受注者は工事的目的物及び工事材料(支給材料を含む)等を下記により火災保険、建設工事保険その他の保険(これに準ずるものを含む)に付すものとする。 1 保険の種類 保険の種類は、下記のいずれかとする。 1) 普通火災保険契約 2) 火災建築保険契約 3) 建設工事保険契約 4) 組立保険契約 2 保険の対象 工事的目的物及び工事材料(支給材料を含む)に火災保険を付すものとする。 工事的目的物: 工事出来高見込額相当分とする。 工事材料: 現場に搬入した検査済み工事材料とする。 支給材料: 受注者に引渡し済み支給材料。 但し、工事内容で基礎工事及び壁外工作物等については、保険に付する対象から除外することができる。また、継続工事での前回施設部分及び改修工事(修繕、改修、模様替え等を含む)での既製建築部分は保険契約の対象としない。 3 保険の時期、期間、金額 加入期間及び金額は、受注者が下表により選択できる。	
	⑩ 建設副産物の利用/搬出実績	請負金額が100万円以上となる工事については、建設副産物の利用・搬出実績を把握するため、再生資源利用(促進)計画書(実施書)(国土交通省ホームページよりダウンロード可能)を作成し、⑩にて提出する。	
⑪ C A Dデータ	設計図C A Dデータは、当該工事以外での使用を禁止する条件で、無償貸し出す。		

<表-1> 設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説 平成8年版」による耐震安全性の分類			
		○ 特定の施設 (・ 甲類 ○ 乙類)	・ 一般の施設 (・ 乙類)		
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階	機 器	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0
屋上及び屋根	防振支持の機器	2. 0	2. 0	2. 0	1. 5
中間階	機 器	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6
	防振支持の機器	1. 5	1. 5	1. 5	1. 0
地下・1階	機 器	1. 0	0. 6	0. 6	0. 4
	防振支持の機器	1. 0	1. 0	1. 0	0. 6

重要機器 : ○ 配電盤 ・ 発電装置 ・ 直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置
○ 交換機 ○ 火災報知受信機 ・ 中央監視装置 ○ 変圧器
上層階の定義 : 2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。

<表-2> あと施工アンカー

1 共通事項	(1) 既設のイナート及びアーカーは原則として使用しない。やむを得ず既設のイナート及びアーカーを再利用する場合は、状態及び強度をよく確認し、十分に清掃してから使用する。また、引張強度の確認試験については次にによる。 () (2) あと施工アンカーについては機械設備工事標準図(施工19)による。 (3) 穿孔作業には、専用ドリル、振動ドリルやハンマードリル等を使用し、必要埋設深さを確保するため、穿孔深さのドリルへの表示やストップ付きドリルの使用等を行う。
2 重要機器用のあと施工アンカー	(1) 重要機器の耐震固定等に使用するあと施工アンカーは金属拡張アンカー又は接着系アンカーとし、耐震計算にて選定を行う。 (2) 金属拡張アンカーの仕様は、次にによる。 (7) 金属拡張アンカーは、(社)日本建築あと施工アンカー協会の金属系あと施工アンカー品質性能判定表の性能を満足する製品とする。 (4) 金属拡張アンカーの埋付方式は、図示による。図示がなければ、本体打込み式とする。 (6) 金属拡張アンカー本体の径及び埋め込み深さは、図示による。 (2) ドリルの種類、径及び長さは図示による。 (3) 接着系アンカーの仕様は、次にによる。なお、次により施工が困難な場合は、監督員と相談すること。 (7) 接着系アンカーは、(社)日本建築あと施工アンカー協会の接着系あと施工アンカー品質性能判定表の性能を満足する製品とする。 (4) 接着系アンカーは、WJタイプとし、接着剤の材質及びWJタイプの種類は図示による。 (9) 接着系アンカーの埋込深さ及び許容引張荷重については、機械設備工事標準図(施工19)による。 (4) あと施工アンカーの施工には、工事内容に相応した施工の指導を行うあと施工アンカー技術管理士又は主任技士を置く。 (5) あと施工アンカー作業における技能者は、あと施工アンカー工事の施工に関する十分な経験と技能を有する主任技士又は第1・2種あと施工アンカー施工士とする。 (6) あと施工アンカーの撤去は、専用の工具を使用し、構造物に影響を与えないようにすること。

<表-3> 用語の説明

(1) 「撤去」とは、既存物を壊し取ること。 (2) 「取外し」とは、再使用を考慮して、丁寧に外すこと。 (3) 「撤去・新設」とは、既存物を撤去し、新たな物を設置すること。 (4) 「取外し・再取付け」とは、既存物を取外し、同じ物を取付けること。 [1-1.4.3] (5) 「備品移動」とは、工事の施工に支障となる備品を一時的な場所に保管し、工事終了後に元の場所に戻すこと。

<表-4> 発生材の処理等

1. 再生資材の利用				
下表資材の使用に際し、再生資材を利用すること。				
再生資材名	規格	使用箇所	再資源化施設名・所在地	備考

2. 建設発生土の利用				
盛土等に使用する発生土は、下表の工事からの建設発生土を利用すること。				
発注機関	工事名	発生場所	施工会社名・連絡先	備考

3. 建設発生土の搬出				
工事の施工により発生する建設発生土は、下表の場所に搬出すること。				
受入工事名/施設名称				
工事場所/施設所在地				
連絡先				
仮置場所の有無				
備考				

4. 建設廃棄物の搬出							
工事の施工により発生する廃棄物は、下表の場所に搬出するものとし精算している。							
搬出する廃棄物名	電線・ケーブル類	金属くず	良ブラ・金属混合	照明器具	コンクリートがら	アスファルトがら	
処理施設名称	最寄りの施設	〃	〃	〃	〃	〃	〃
施設所在地							
連絡先							
備考							

上表は精算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。
ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。
5. 建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、同法第18条に基づき再資源化完了報告書を提出すること。
6. 自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。
7. 協議について
建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに監督員に報告し、協議すること。

<表-5> 工事区分表

注) 原則○印を適用する。
ただし、複数記載してある項目についての区分はその項目を必要とする施工者に適用する。

項 目		建	電	空	衛	昇		備 考
躯体関係								
1. RC造(梁・壁・床)の貫通	貫通パイプ材及び取付け	○	○	○	○	○		
	補強を要する型枠材及び取付け	○						
	補強を要しない型枠材及び取付け	○	○	○	○	○		防火区画、防煙区画
孔・開口部	貫通孔・開口部の墨出し	○	○	○	○	○		防火区画、防煙区画
	貫通孔・開口部の補強	○						
	パイプ・型枠の穴埋め	○	○	○	○	○		
2. S・SRC造・はり貫通口	S・SRC造貫通鋼管鋼管パイプ・補強	○						
	使用されたパイプの穴埋め	○	○	○	○	○		
	予備パイプの穴埋め	○	○	○	○	○		
	建築設計図に記入のあるもの	○						
	室内の基礎(建築設計図に記入のないもの)	○	○	○				
	屋外・屋上の基礎	○						
3. 設備機器の基礎	屋上基礎で押さえないパイプのない軽微なもの	○	○	○				
	機器取付け用アンカー・架台	○	○	○				
	屋内受水パイプの基礎	○						
仕 上 げ 関 係								
軽鉄天井	補強を用いるパイプの切り込み及び下地の補強	○						
	補強を用いないパイプの切り込み	○	○	○				
	開口部の墨出し	○	○	○				
電 気 関 係								
電気配管配線	機器付属の制御盤以降の配管配線(接地線共)	○	○	○				二次側
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線	○						一次側
	機器と付属操作スイッチの取付け及び選り配管配線	○	○					
そ の 他 (工事区分を特に間違えやすい項目)								
天井材の取外し再取付	各種配管配線作業用	○	△	△	△			小規模は監督員と協議
床はつり補修	各種配管配線作業用	○	△	△	△			小規模は監督員と協議
流し台、ガス台		○						
便所手洗いカウンター		○						衛生陶器は衛生設備
洗面化粧台				○				
誘導標識		○						誘導灯は電気設備
ガス漏れ警報器				○				ガス漏れ火災警報設備は電気設備
24H換気扇	機器納入			○				
連動スイッチ	取付		○					
湯沸器	機器納入			○				
連動スイッチ	取付		○					
上記以外	機器納入、取付		○					

<表-6> 機器取付高

機器取付高は、下表を標準とする。ただし、監督員の指示により変更することができる。				
名称	測点	取付高(mm)		
電力共通	取引用計器	地上・上端	※ 2,000	
	引込開閉器	〃	※ 1,800	
	電 灯	分電盤	床上・中心	※ 1,500(上端1,900以下)
		タンブラスイッチ (一般)	〃	※ 1,300
		〃 (身障者用)	〃	※ 900~1,000
		コンセント (一般)	〃	※ 300
		〃 (和室)	〃	※ 200
		〃 (台上)	台上・中心	※ 150
		ブラケット (一般)	床上・中心	※ 2,100
		〃 (講場)	〃	※ 2,500
〃 (鏡上)		鏡端・中心	※ 150	
〃 (浴室)		床上・中心	※ 天井高×0.9	
非常照明器具用遮断器	〃	※ 1,200		
避難口誘導灯	床上・下端	※ 1,500以上		
廊下通路誘導灯	床上・上端	※ 1,000以下		
動 力	壁掛型制御盤	床上・中心	※ 1,500	
	手元開閉器	〃	※ 1,500(上端1,900以下)	
	操作スイッチ・押ボタン	〃	※ 1,300	
電 話	室内端子盤	床上・下端	※ 300	
	中間端子盤	床上・中心	※ 1,500	
	保安器箱	〃	※ 天井高×0.9	
	壁掛位置ボックス (一般)	床上・中心	※ 300	
〃 (和室)	〃	※ 200		
時 計	壁掛形観時計	床上・中心	※ 1,500(上端1,900以下)	
	子時計	〃	※ 天井高×0.9	
拡 声	壁掛形スピーカー	床上・中心	※ 天井高×0.9	
	壁付音量調整器	〃	※ 1,300	
表示・電鈴	表示盤	床上・中心	※ 天井高×0.9	
	壁付発信器	〃	※ 1,300	
	ブザー・ベル	〃	※ 天井高×0.9	
	押ボタン (一般)	〃	※ 1,300	
〃 (身障者用)	〃	900~1,000		
インターホン	壁付インターホン	床上・中心	※ 1,300	
	身体障害者用	〃	※ 1,000	
	壁付位置ボックス (一般)	〃	※ 300	
	〃 (和室)	〃	※ 200	
テ レ ビ	機器収納箱	床上・中心	※ 1,500	
	テレビアウトレット (一般)	〃	※ 300	
	〃 (和室)	〃	※ 200	
火 災 報 知 器	受信機・副受信機	床上・操作部	※ 800~1,500	
	専用総合盤	床上・中心	〃	
	発信器	〃	〃	
	ベル	〃	※ 2,300	
	消火栓・表示灯	〃	※ 2,100	
試験器	〃	※ 1,500		
ガス警報器	LPGガス用	床上・上端	※ 300以内	
	都市ガス用	天井面・下端	※ 300以内	

備考	

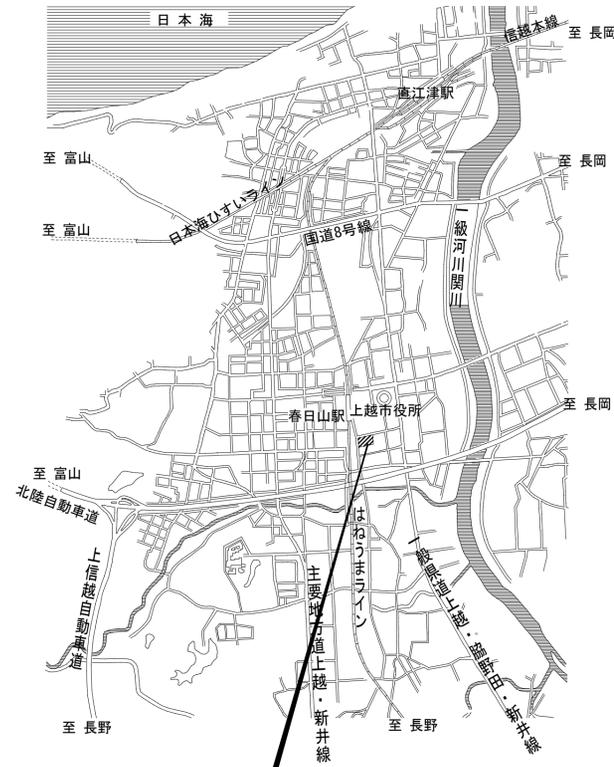
第一・護国共同企業体
(代表) (有)第一設計総合事務所
管理建築士・一級建築士登録 第106046号 齊藤博

総括・一級建築士	担当事務所長
第106046号 南第一設計総合事務所 齊藤博	基本・意匠・構造(図面) 選辺設備設計事務所 選辺信行

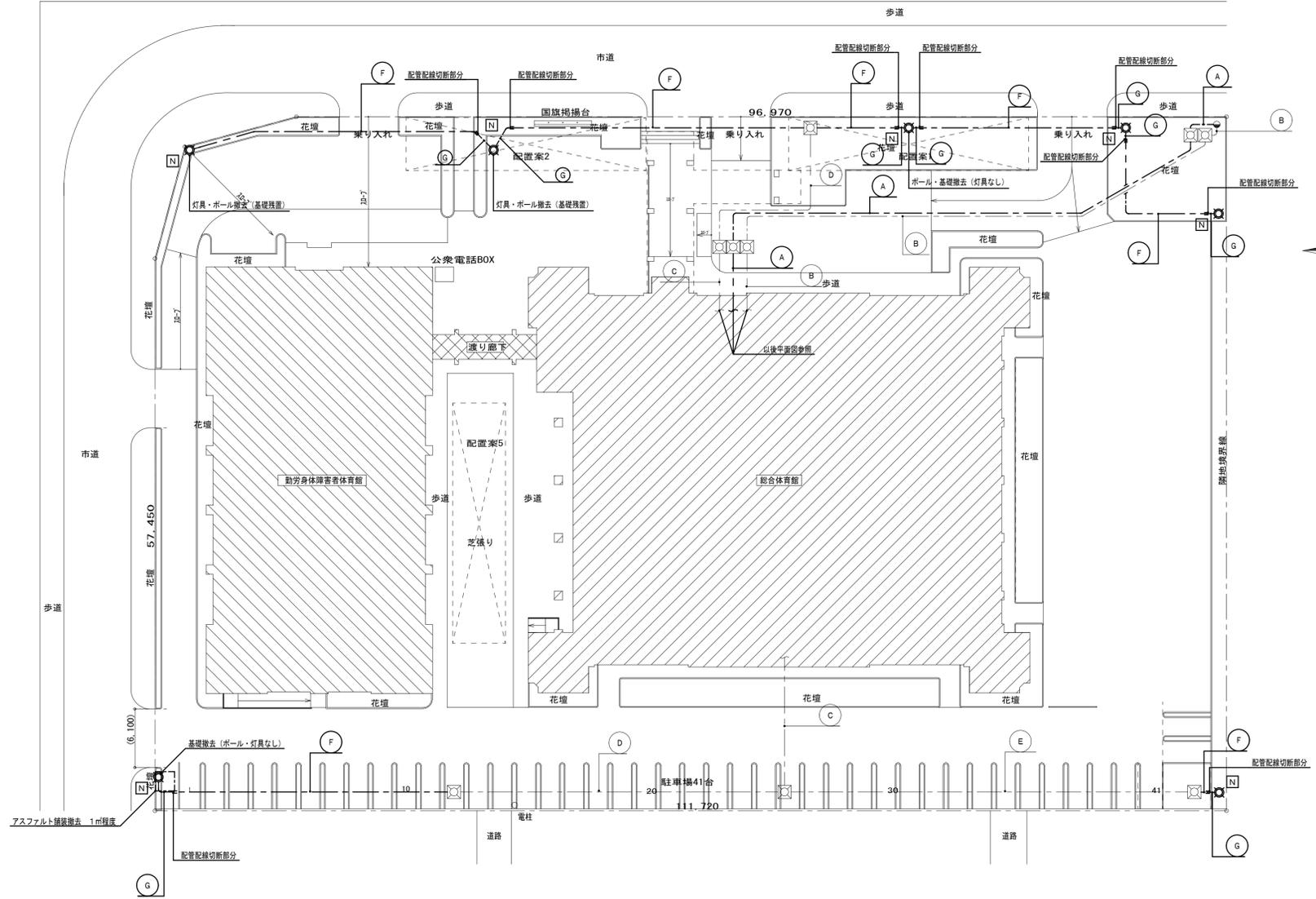
工事名称
上越市総合体育館等大規模改修電気設備工事

図面名称 上越市総合体育館・渡り廊下
電気設備 特記仕様書(N.O. 2)

縮尺	A1版	A3版	整理分類番号	図面番号
				建・構・電・衛 浄・厨・外・空 総03
年月日	令和3年2月			総58
				合計枚数 枚



本工事敷地 上越市木田1丁目17-33



配置図 S=1/300

凡例	名称	用途	備考
○	電柱	コンクリート柱 12m-19cm-350kg 横カセ・足場ボルト共	現状のまま
□	ハンドホール		現状のまま
□	外灯	(N) HF400W・ポール4.5m・基礎600x600x1300H共	撤去

記号	配線	配管	負荷名称	備考
A	6KV CVT38"	(PE82) GL-600H	高圧	ケーブル撤去、配管再使用
	CVV3.5'-6C	(PE28) GL-600H	GR電源・変換	ケーブル撤去、配管再使用
B	—C—	(PE42) x2 GL-600H	電柱・有線引込	現状のまま
C	CV 8'-3C	(PE36) GL-600H	外灯電源	現状のまま
	—C—	(PE36) x2 GL-600H	予備	現状のまま
D	CV 8'-3C	(PE36) GL-600H	外灯電源	現状のまま
	—C—	(PE36) GL-600H	予備	現状のまま
E	CV 8'-3C	(PE36) GL-600H	外灯電源	現状のまま
F	CV 8'-3C	(PE36) GL-600H	外灯電源	ケーブル撤去、配管再使用
G	CV 8'-3C	(PE36) GL-600H	外灯電源	配管配線撤去

備考
 1. 図中、薄い機器・器具・配管・配線は、既存品現状のままとする
 2. 図中、配管配線撤去で、コンクリート内配管部分は、電線のみ撤去・配管は埋め殺しとする。
 3. 図中、立上立下・屋内配線は、適合電線管にて保護する。
 4. 建築工事に於いて、壁・床撤去部分の配管は、建築工事の支障のない所で、切断・撤去を行う。

第一・護國共同企業体
 (代表) (有)第一設計総合事務所
 管理建築士一級建築士登録 第106046号 齊藤博

総括・一級建築士
 第106046号
 (有)第一設計総合事務所
 齊藤博

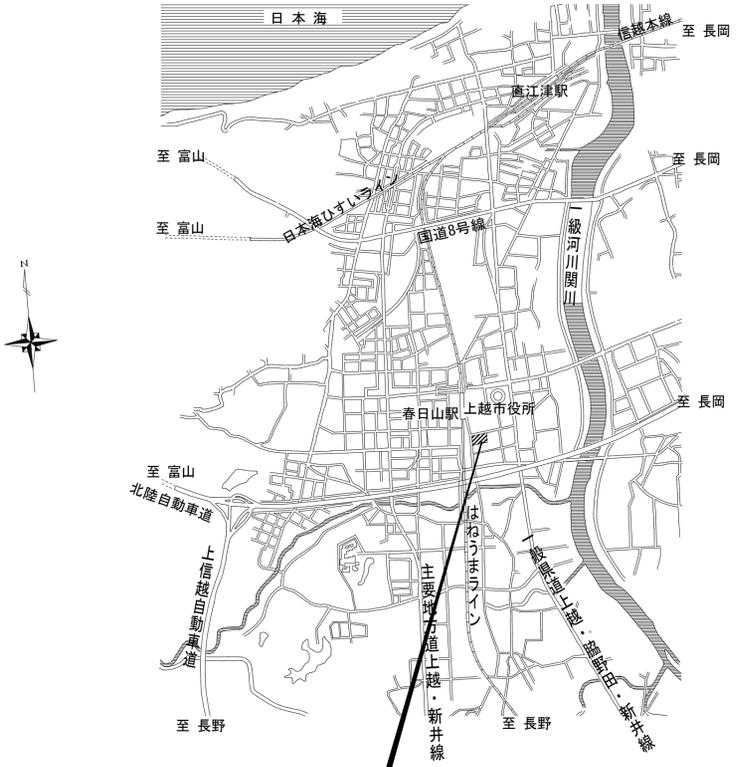
担当事務局長
 基本・意匠・構造・設備
 渡辺設備設計事務所
 渡辺 信行

工事名称
上越市総合体育館等大規模改修電気設備工事

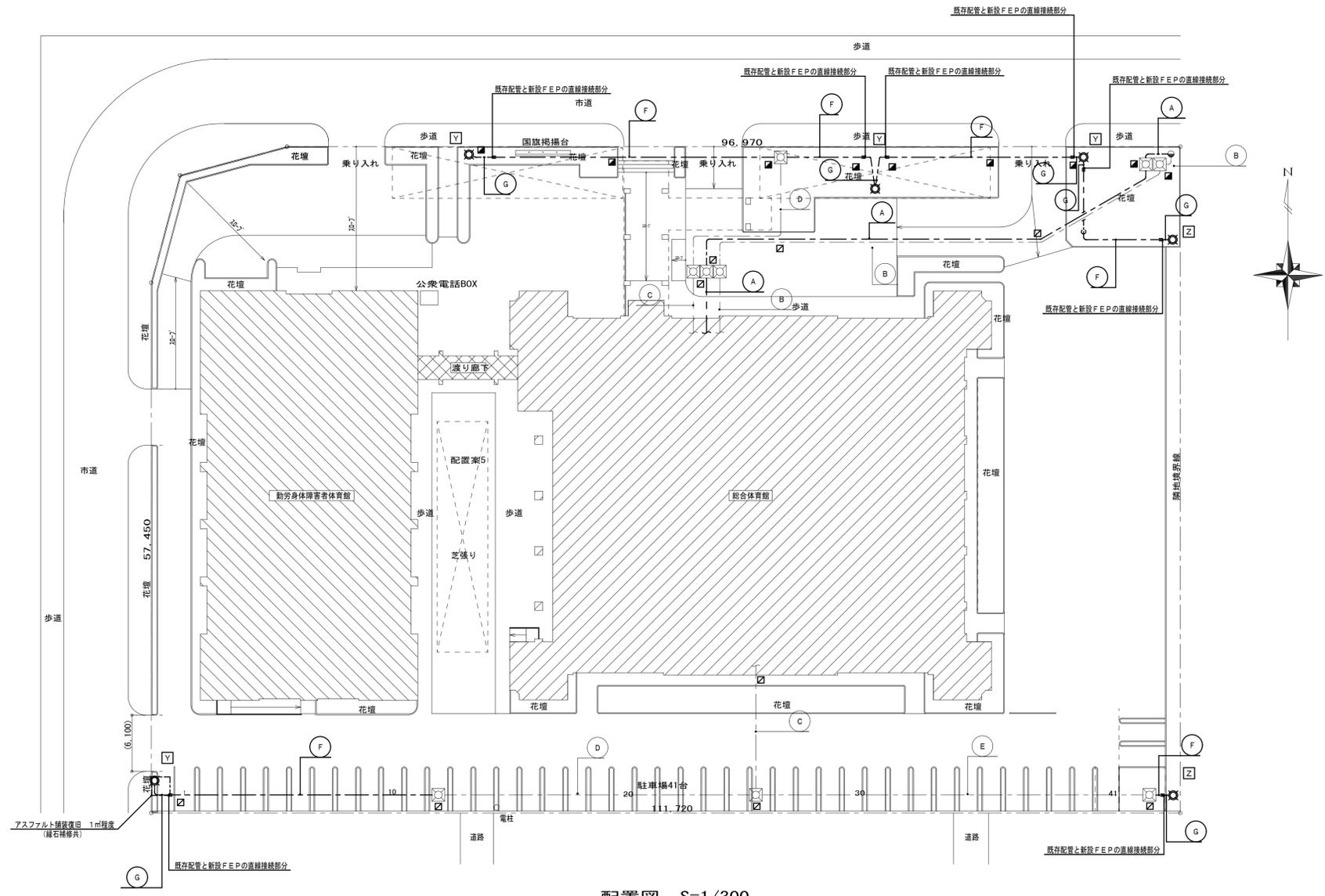
図面名称 上越市総合体育館・渡り廊下 上越勤労身体障害者体育館【改修前】案内図 配置図
改修前 案内図・配置図

縮尺 A1版 A3版
 1/300 1/600
 年月日 令和3年2月

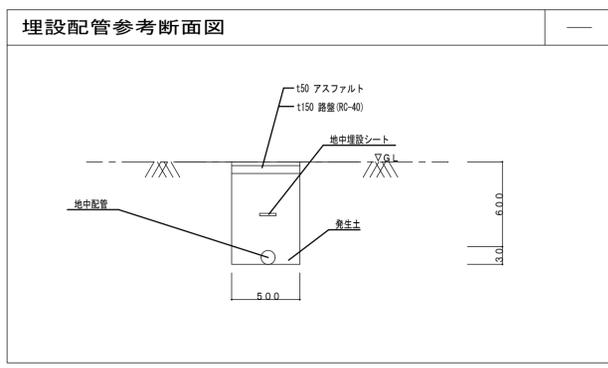
整理分類番号
 図面番号
 建・構・電・衛 総04
 浄・厨・外・空 総58
 合計枚数 枚



本工事敷地 上越市木田1丁目17-33



配置図 S=1/300



凡例	図記号	名称	造用	備考
○	電柱	コンクリート柱	12m-19cm-350kg 機力セ・足場ボルト共	現状のまま
□	ハンドホール			現状のまま
■	地中線埋設機	鉄製機		新設
■	地中線埋設機	コンクリート製		新設
---	地中線路	GL-600H	埋設機シート(2倍長)敷設	新設
☒	外灯	(Y) HF300W相当・ポール4.5m・基礎600x600x1300H共		新設
☒	外灯	(Z) HF250W相当・ポール4.5m・基礎600x600x1300H共		新設

記号	配線	配管	負荷名称	備考
A	6KV EM-CET38*	(PE32) GL-600H	高圧	ケーブル新設、配管再使用
	—	(PE28) GL-600H	予備	配管再使用
B	—	(PE42) x2 GL-600H	電話・有線引込	現状のまま
C	CV 8" - 3C	(PE36) GL-600H	外灯電源	現状のまま
	—	(PE36) x2 GL-600H	予備	現状のまま
D	CV 8" - 3C	(PE36) GL-600H	外灯電源	現状のまま
	—	(PE36) GL-600H	予備	現状のまま
E	CV 8" - 3C	(PE36) GL-600H	外灯電源	現状のまま
F	EM-CE 8" - 3C	(PE36) GL-600H	外灯電源	ケーブル新設、配管再使用
G	EM-CE 8" - 3C	(FEP30) GL-600H	外灯電源	新設

備考
 1. 図中、薄い機器・器具・配管・配線は、既存品現状のままとする
 2. 図中、配管配線撤去で、コンクリート内配管部分は、電線のみ撤去・配管は埋め殺しとする。
 3. 図中、立上立下・屋内配線は、適合電線管にて保護する。
 4. 建築工事に於いて、壁・床撤去部分の配管は、建築工事の支障のない所で、切断・撤去を行う。

第一・護國共同企業体
 (代表) (有)第一設計総合事務所
 管理建築士一級建築士登録 第106046号 齊藤 博

総括・一級建築士
 第106046号
 (有)第一設計総合事務所
 齊藤 博

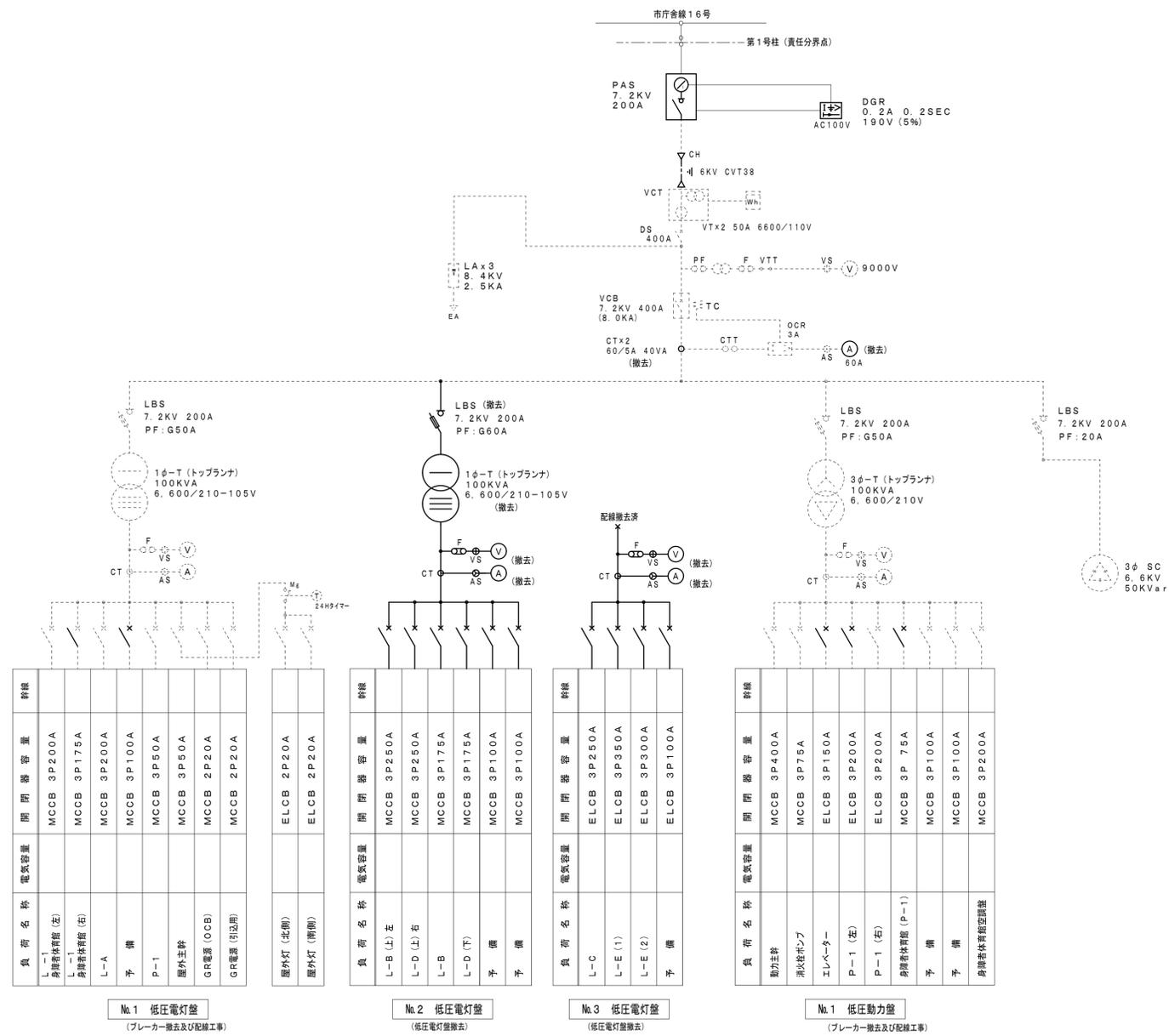
担当事務所長
 基本・意匠・構造・設備
 渡辺設備設計事務所
 渡辺 信行

工事名称
上越市総合体育館等大規模改修電気設備工事

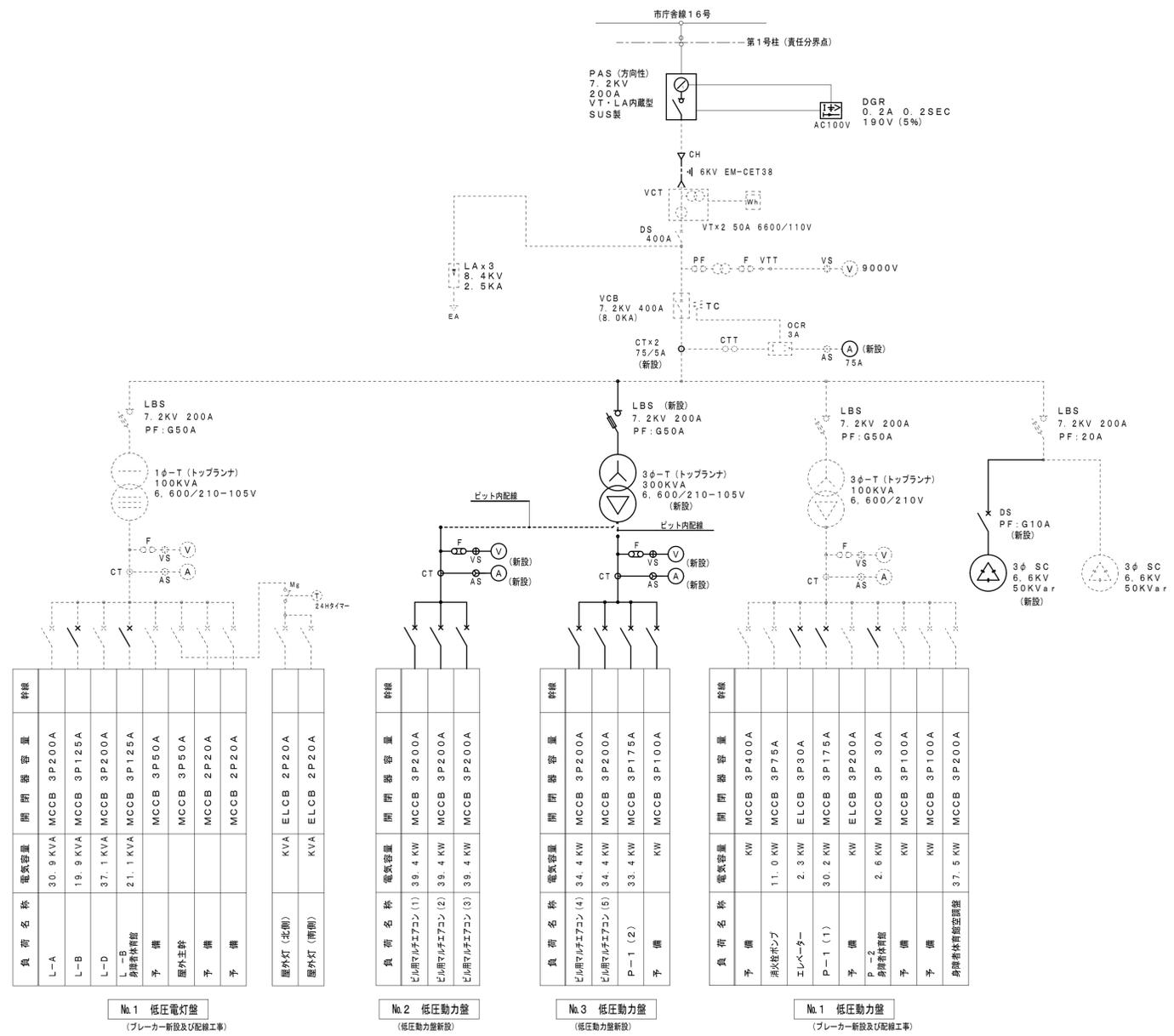
図面名称 上越市総合体育館・渡り廊下 上越勤労身体障害者体育館【改修後】案内図 配置図
改修後 案内図 配置図

縮尺 A1版 1/300 A3版 1/600
 年月日 令和3年2月

整理分類番号
 図面番号
 建・構・電・衛 総05
 浄・厨・外・空 総58
 合計枚数 枚



改修前高圧受変電設備単線結線図
(图中、薄く点線、機器・器具・配管・配線は、既存品現状のままとする)



改修後高圧受変電設備単線結線図
(图中、薄く点線、機器・器具・配管・配線は、既存品現状のままとする)

備考	

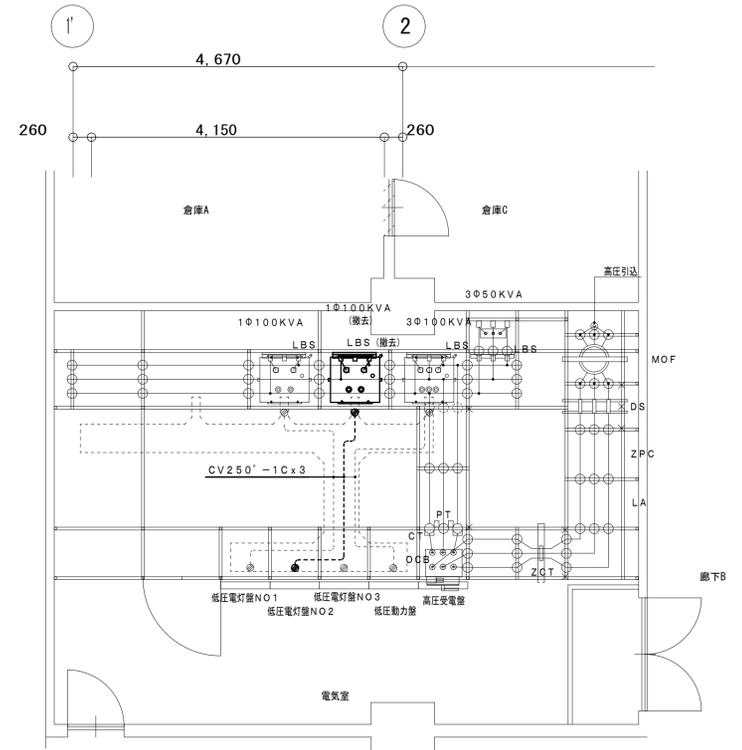
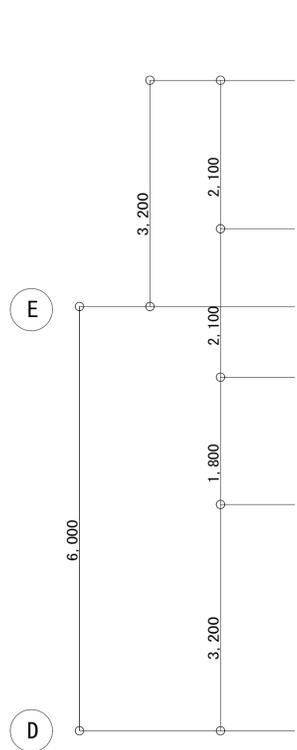
第一・護國共同企業体
(代表) (有) 第一設計総合事務所
管理建築士一級建築士登録 第106046号 齊藤 博

総括・一級建築士 第106046号 (有) 第一設計総合事務所 管理建築士一級建築士登録 第106046号 齊藤 博	担当事務所長 基本・意匠・構造・設備 渡辺設備設計事務所 渡辺 信行
---	---

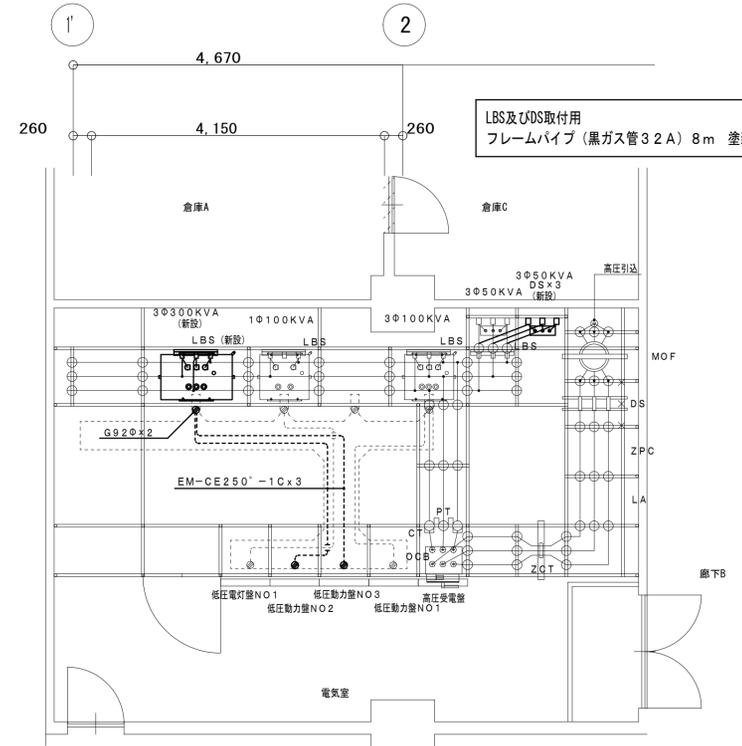
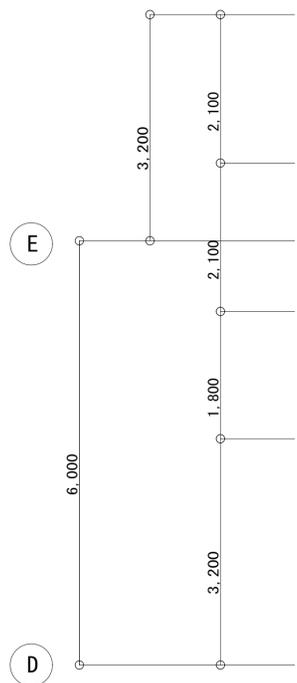
工事名称
上越市総合体育館等大規模改修電気設備工事

図面名称 上越市総合体育館・渡り廊下
改修前・改修後 単線結線図

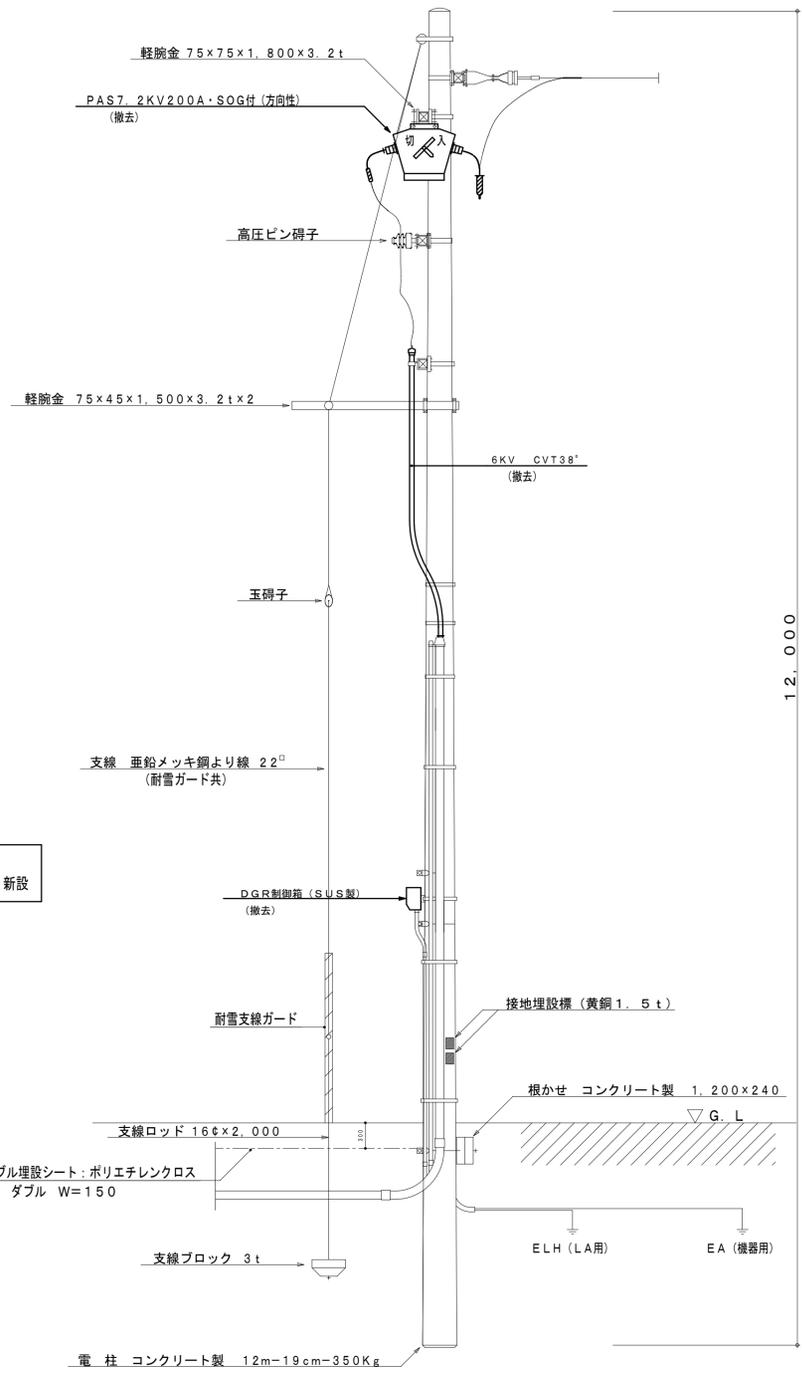
縮尺 A1版 A3版	整理分類番号	図面番号 建・構・電・衛 総06 浄・厨・外・空 総58
年月日 令和3年2月	合計枚数	枚



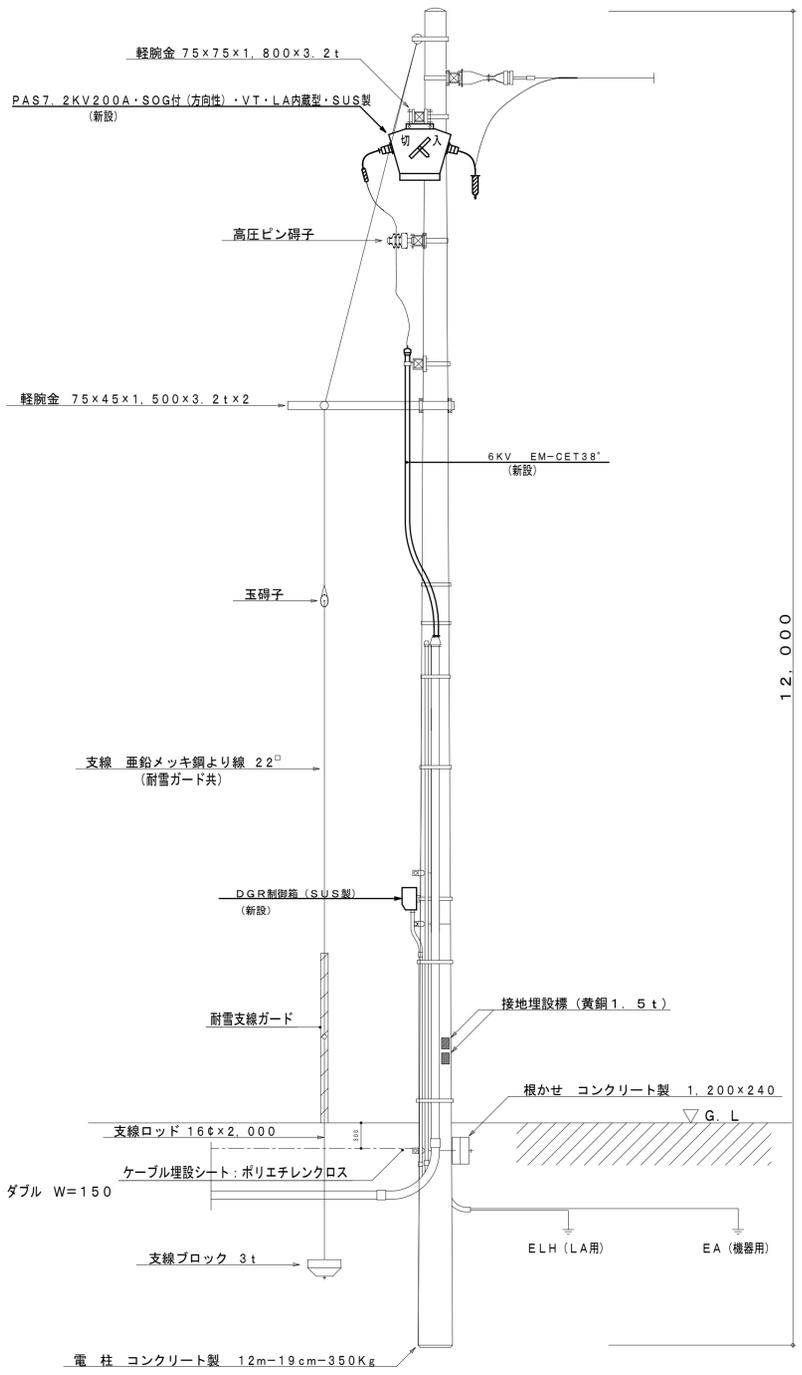
改修前電気室詳細図 1/50



改修後電気室詳細図 1/50



改修前引込第1柱装柱図



改修後引込第1柱装柱図

備考
 1. 図中、薄い機器・器具・配管・配線は、既存品現状のままとする
 2. 図中、配管配線撤去で、コンクリート内配管部分は、電線のみ撤去・配管は埋め殺しとする。
 3. 図中、立上立下・屋内配線は、適合電線管にて保護する。

第一・護國共同企業体
 (代表) (有) 第一設計総合事務所
 管理建築士・一級建築士登録 第106046号 齊藤博

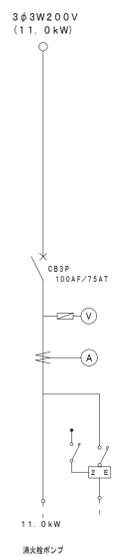
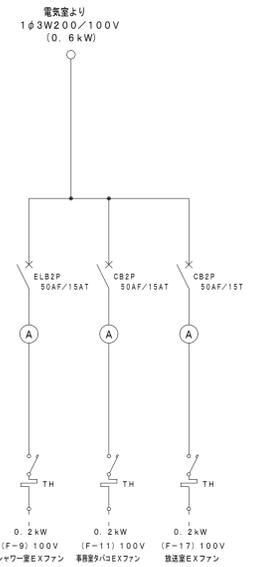
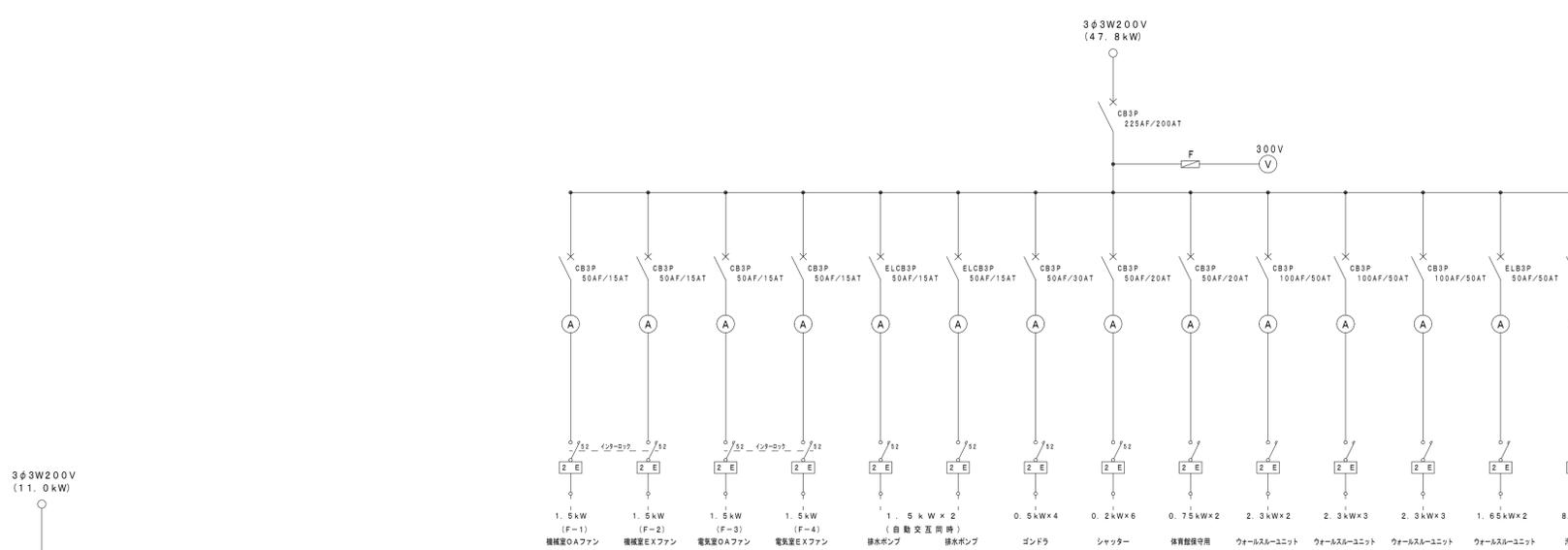
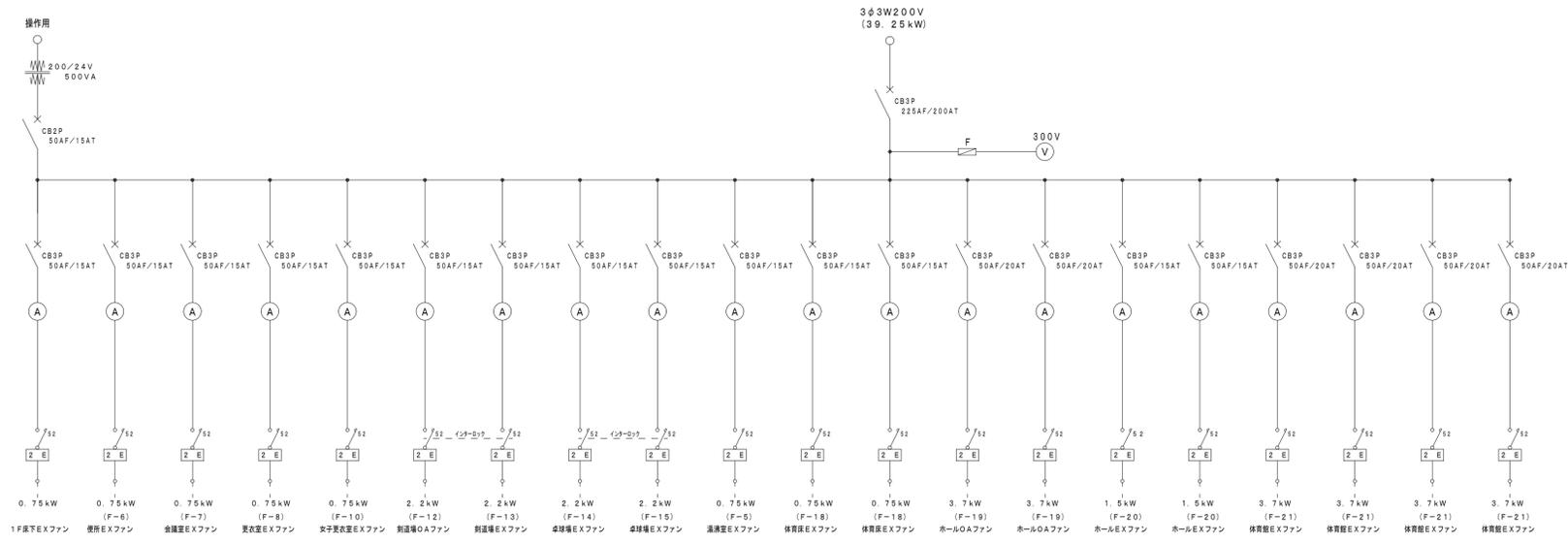
総括・一級建築士
 第106046号
 (有) 第一設計総合事務所
 管理建築士・一級建築士登録 第106046号 齊藤博

担当事務所長
 基本・意匠・構造・設備
 渡辺設備設計事務所
 渡辺 信行

工事名称
 上越市総合体育館等大規模改修電気設備工事

図面名称 上越市総合体育館・渡り廊下【改修前・後】電気室平面詳細図
 電気室平面詳細図・第1柱装柱図

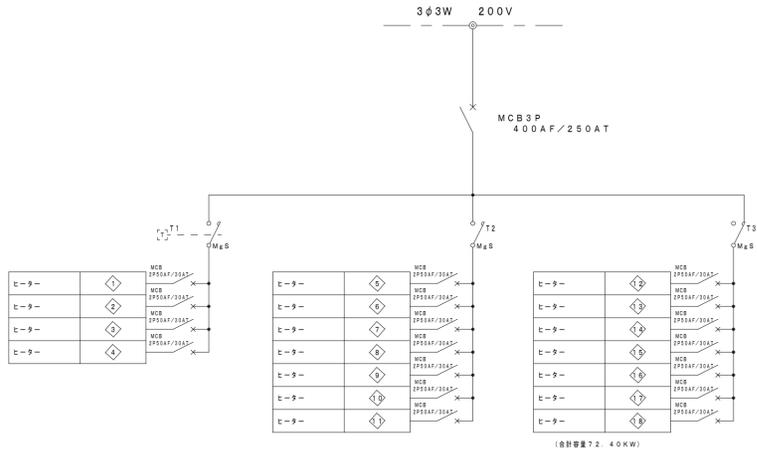
縮尺 A1版 1/50 A3版 1/100
 整理分類番号
 図面番号
 建・構・電・衛 総07
 浄・厨・外・空 総58
 合計枚数 枚



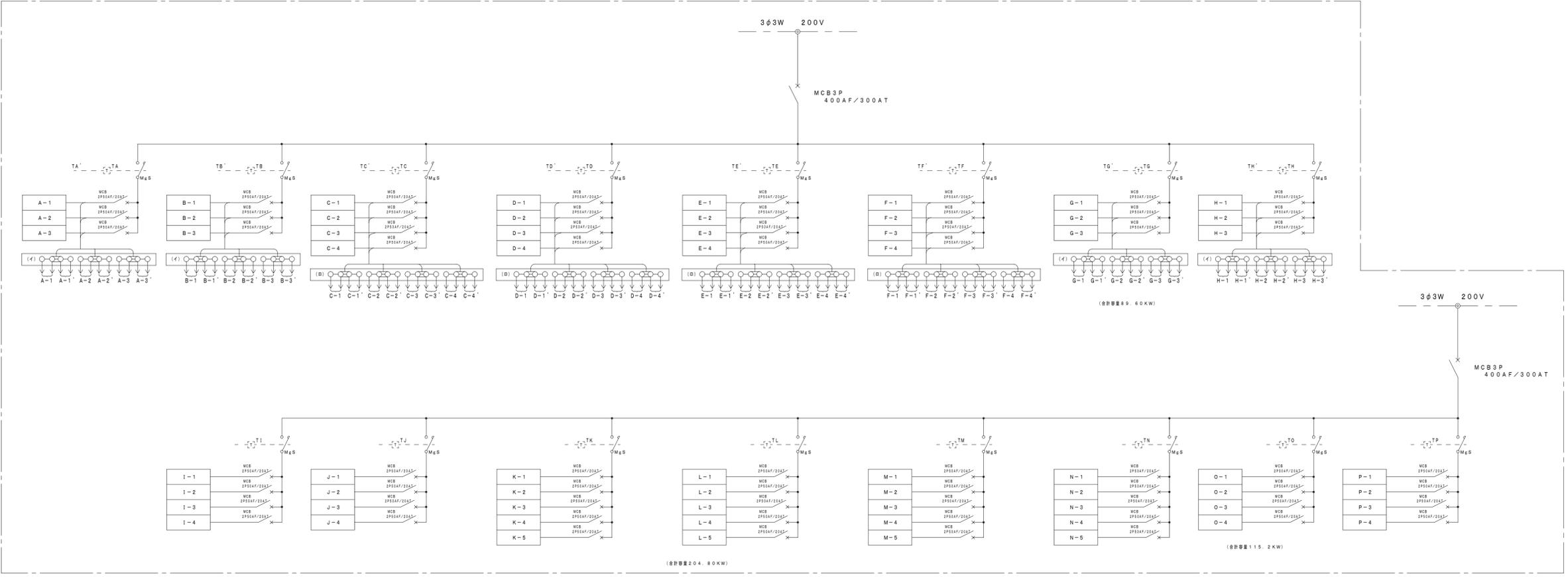
撤去仕様 盤内部機器撤去
改修前消火栓盤
銅板製・自立型 (500W x 2050H x 400D)
 (合計容量 11.0 kW)

撤去仕様 盤内部機器撤去
改修前 P-1
銅板製・自立型 (1200W x 2050H x 400D x 2面体)

備考	第一・護國共同企業体 <small>(代表) (有) 第一設計総合事務所 管理建築士一級建築士登録 第106046号 齊藤博</small>			総括・一級建築士 第106046号 齊藤博	担当事務所長 基本・意匠・構造・設備 渡辺設備設計事務所 渡辺 信行	工事名称 上越市総合体育館等大規模改修電気設備工事	図面名称 上越市総合体育館・渡り廊下 改修前動力盤結線図 (NO.1)	縮尺 A1版 A3版 年月日 令和3年2月	整理分類番号	図面番号 建・構・電・衛 総08 浄・厨・外・空 総58 合計枚数 枚



撤去仕様 盤内部機器撤去
改修前 L-C 銅板製・自立型 (800W×2050H×400D)
 改修後は、盤箱体のみ使用し、配線通過スペースとする。



撤去仕様 盤内部機器撤去
改修前 L-E 銅板製・自立型 (800W×2000H×400D)
 改修後は、盤箱体のみ使用し、配線通過スペースとする。

備考	

第一・護國共同企業体
 (代表) (有) 第一設計総合事務所
 管理建築士一級建築士登録 第106046号 齊藤 博

総括・一級建築士
 第106046号
 (有) 第一設計総合事務所
 齊藤 博

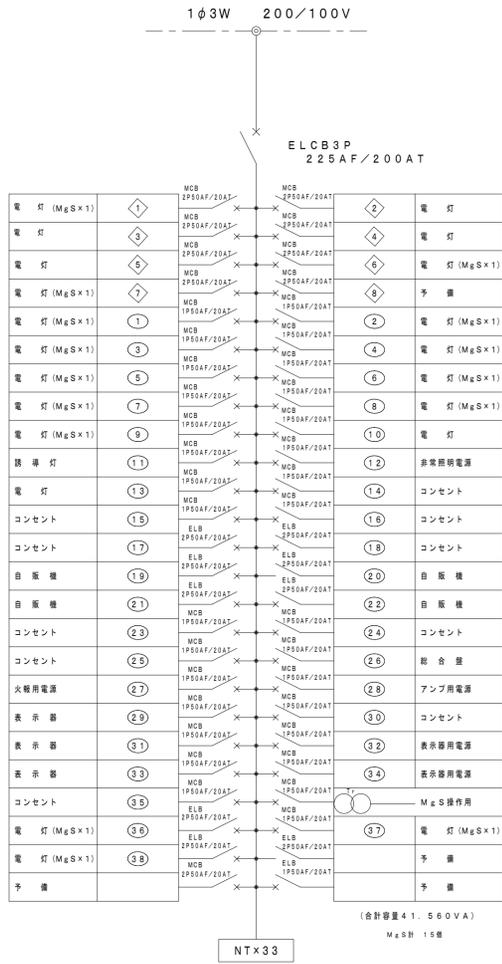
担当事務所長
 基本・意匠・構造・設備
 渡辺設備設計事務所
 渡辺 信行

工事名称
上越市総合体育館等大規模改修電気設備工事

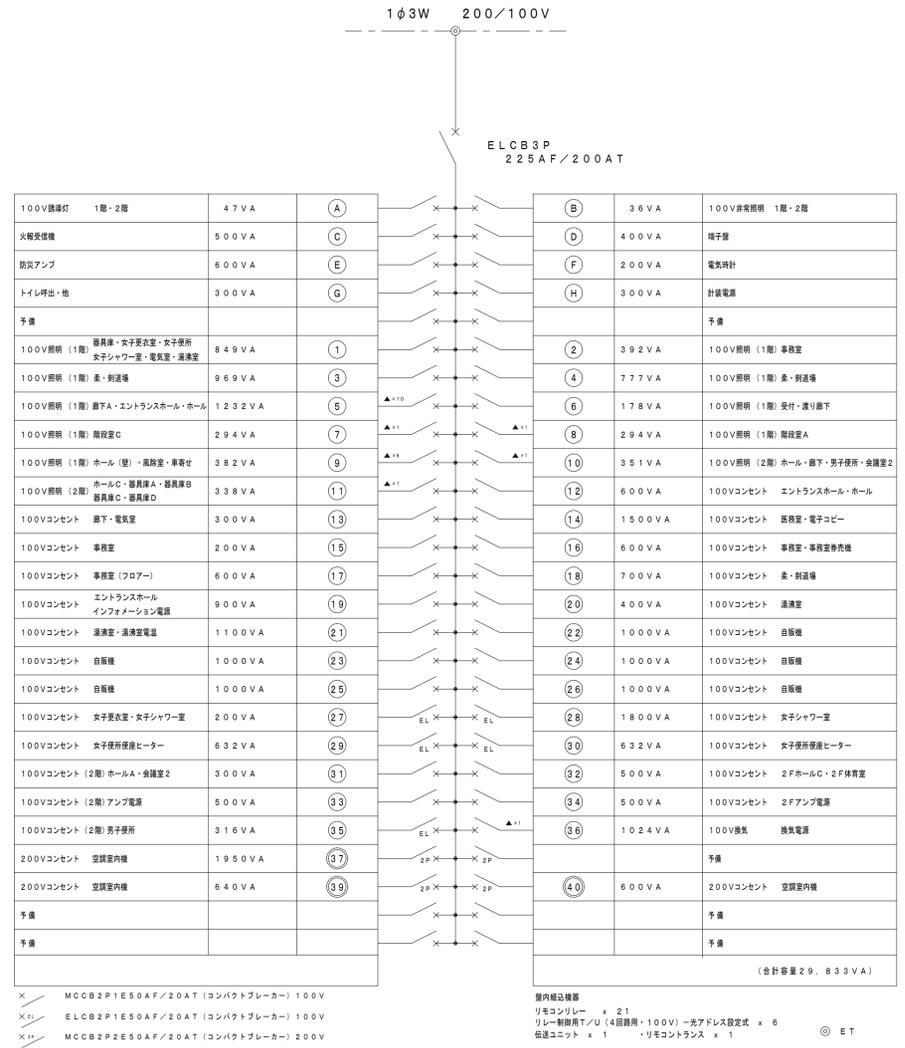
図面名称 上越市総合体育館・渡り廊下
改修前動力盤結線図 (NO.2)

縮尺 A1版 A3版
 年月日 令和3年2月

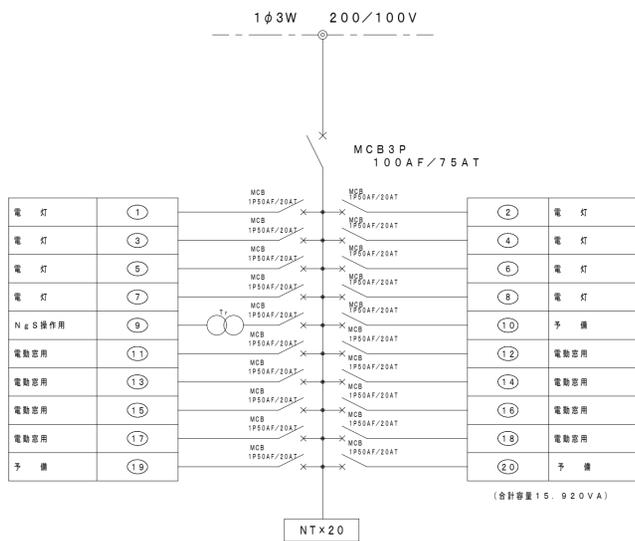
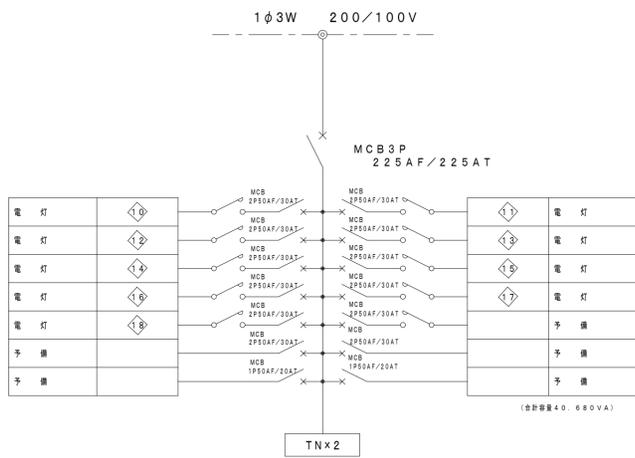
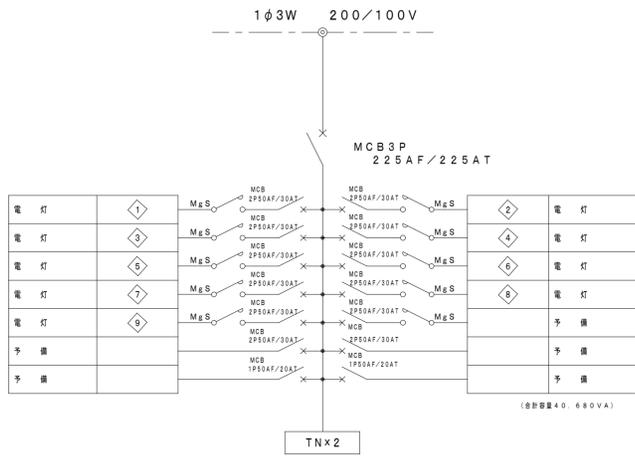
整理分類番号
 図面番号
 建・構・電・衛 総09
 浄・厨・外・空 総58
 合計枚数 枚



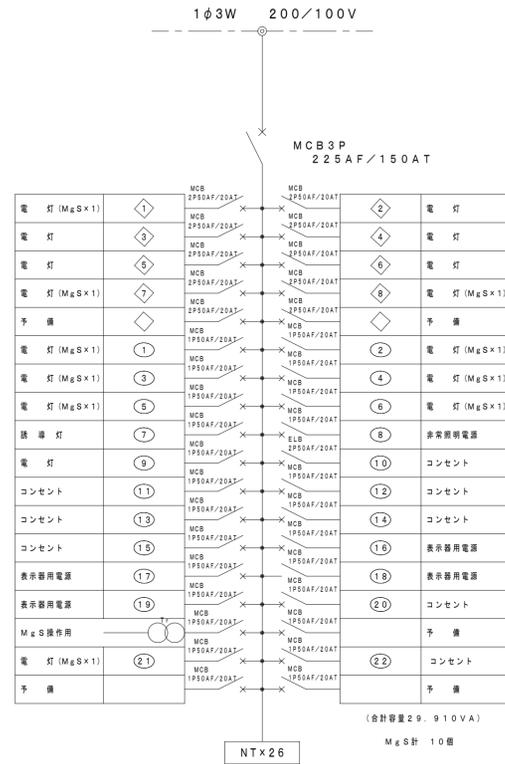
撤去仕様 盤内部機器撤去
改修前 L-A 銅板製・埋込型 (1100W×1690H×250D)



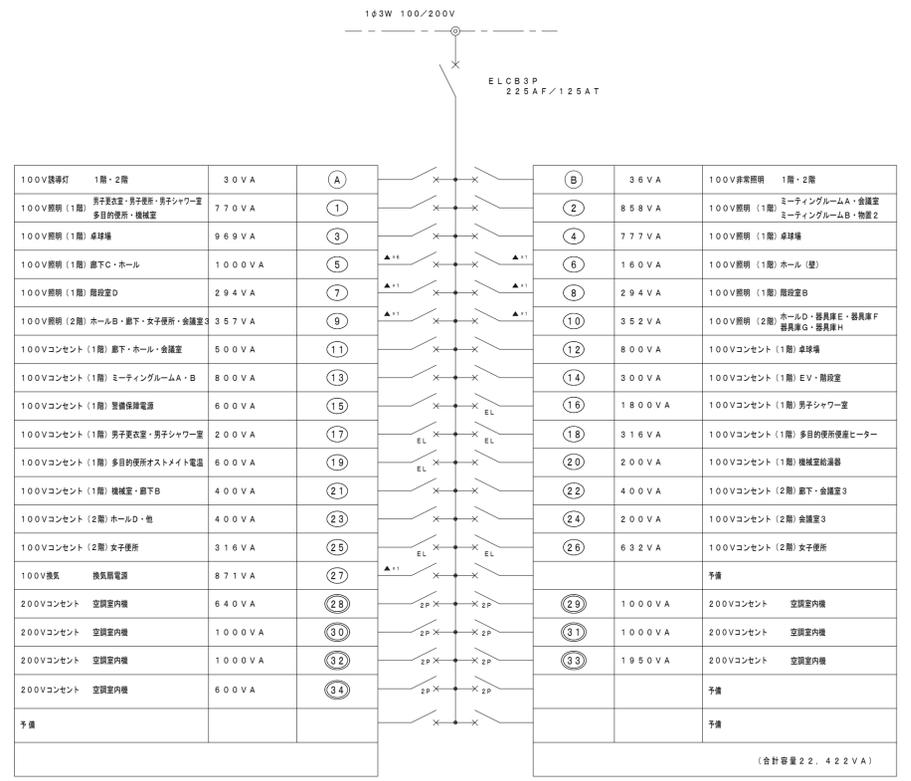
改修仕様 盤内部機器新設
改修後 L-A 銅板製・埋込型 (1100W×1690H×250D)



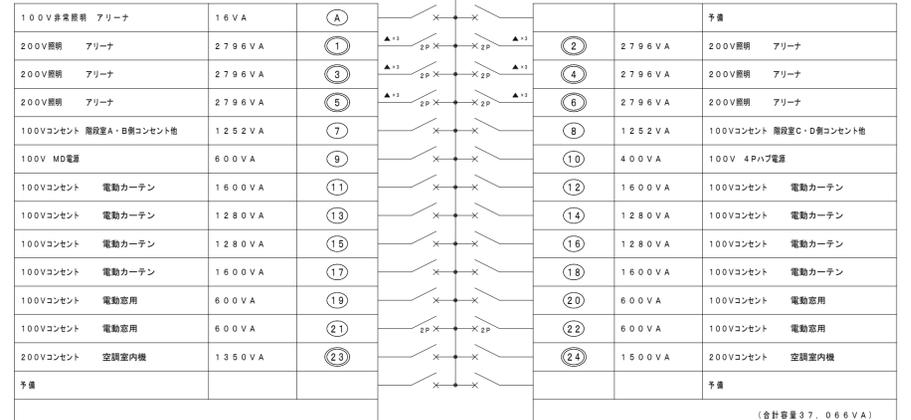
撤去仕様 盤内部機器撤去
改修前 L-D 鋼板製・自立型 (1200W×2250H×400D)



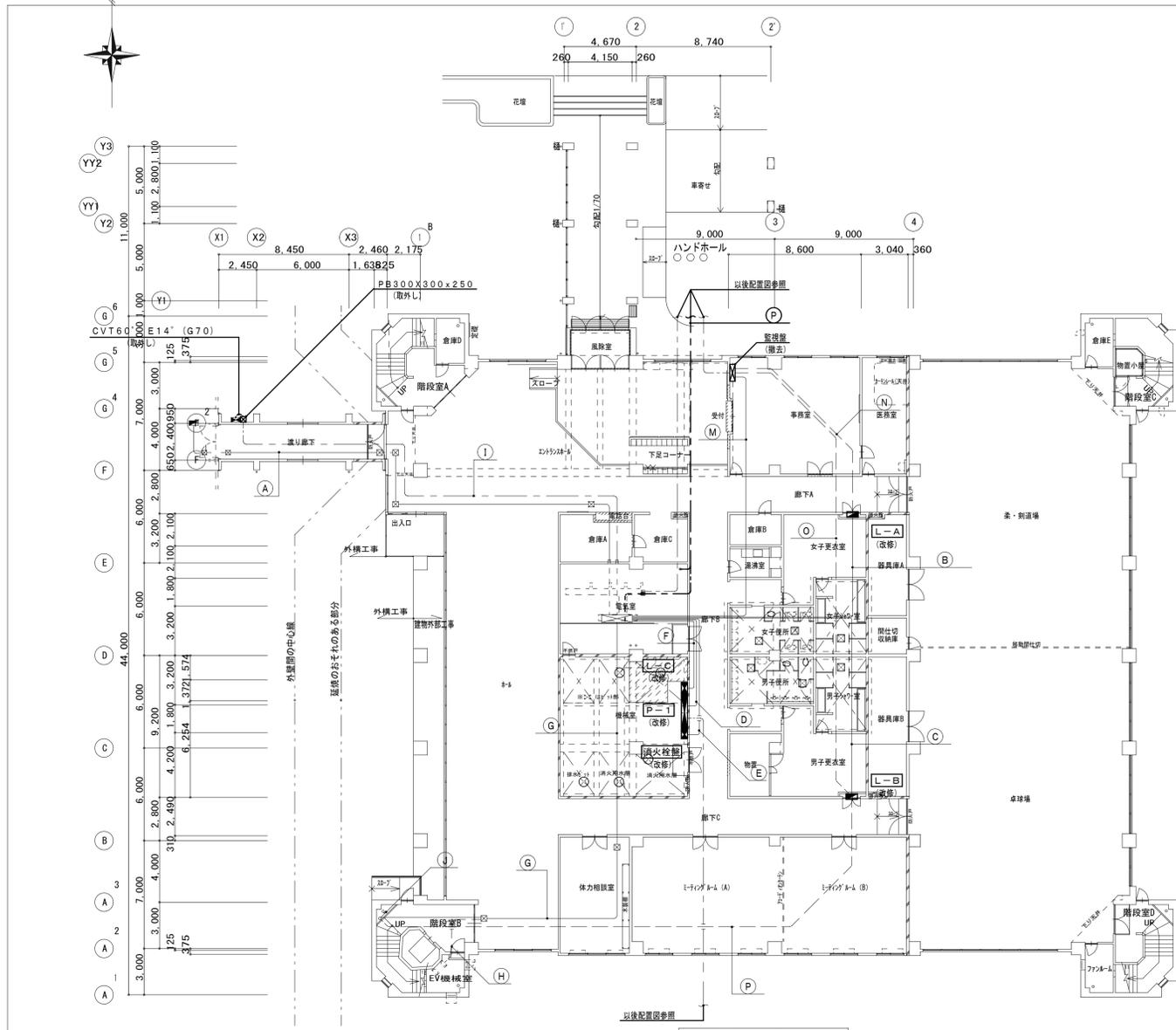
撤去仕様 盤内部機器撤去
改修前 L-B 鋼板製・埋込型 (1100W×1290H×250D)



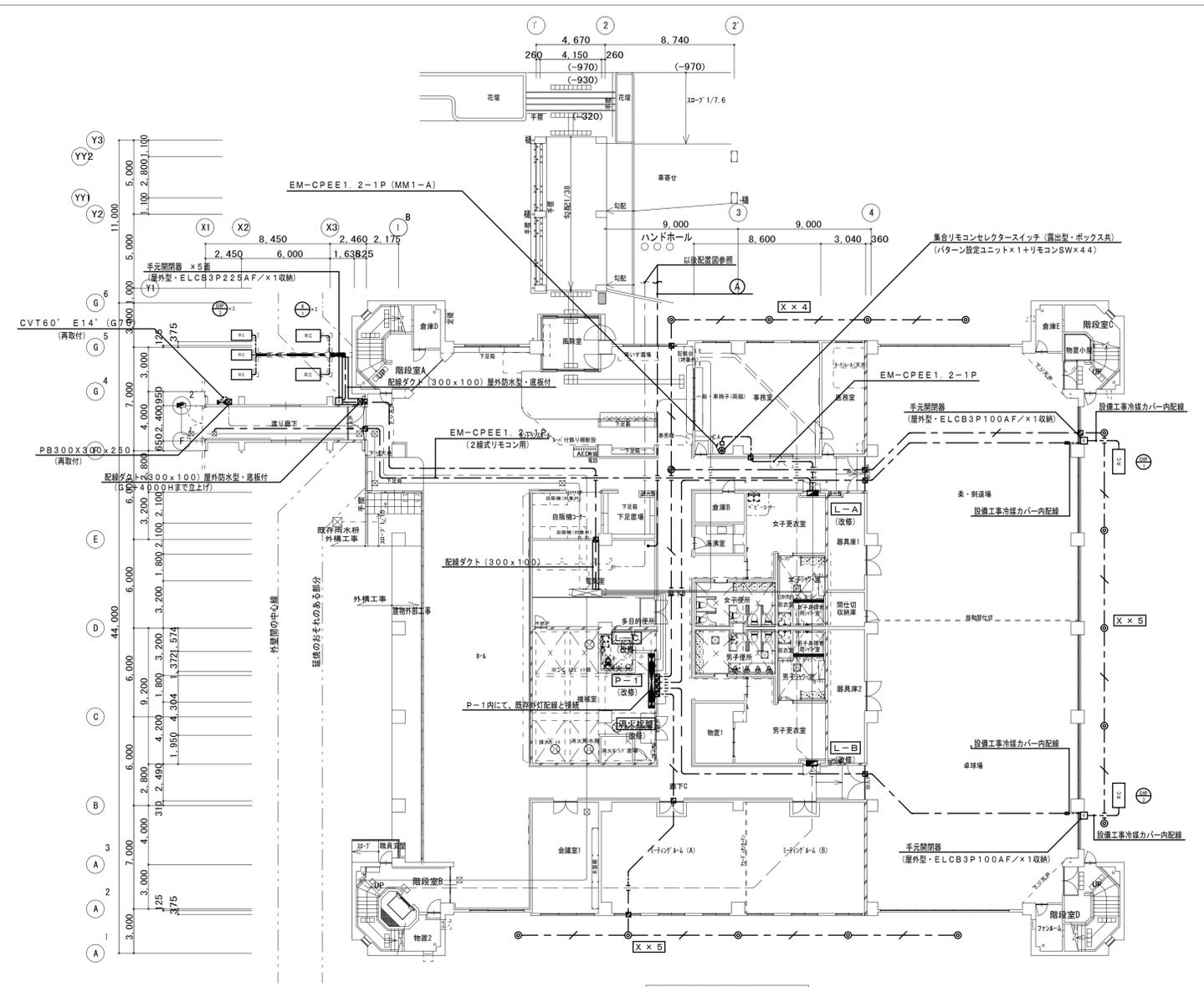
改修仕様 盤内部機器新設
改修後 L-B 鋼板製・埋込型 (1100W×1290H×250D)



改修仕様 盤内部機器新設
改修後 L-D 鋼板製・自立型 (1200W×2250H×400D)



【改修前】1階平面図 S=1:200



【改修後】1階平面図 S=1:200

記号	(改修前) 配管記線	備考	記号	(改修前) 配管記線	備考	記号	(改修前) 配管記線	備考
A	1V 150' x 3 E38' (C75)	電灯 現状のまま	I	CVT 60'	空調電源 再使用する	M	CPEV 0.9-75P (C63)	L-E (制御) 現状のまま
	1V 150' x 3 (C75)	電灯 現状のまま		CPEV 0.9-20P (C31)	L-D (制御) 現状のまま			
	1V 22' x 3 E5.5' (C39)	動力 現状のまま		CPEV 0.9-20P (C31)	L-D (制御) 現状のまま			
B	1V 100' x 3 E22' (C63)	L-A 再使用する	J	CPEV 0.9-20P (C31)	L-D (制御) 現状のまま	N	CPEV 0.9-20P (C31) x 4	L-D (制御) 現状のまま
	1V 80' x 3 E22' (C51)	L-B 再使用する		CPEV 0.9-20P (C31)	L-D (制御) 現状のまま			
	1V 30' x 3 E38' (C51)	L-D (電灯) 現状のまま		1V 150' x 3 (C75)	L-D (電灯) 再使用する			
D	1V 80' x 3 E38' (C51)	P-1 再使用する	O	1V 150' x 3 (C75)	L-D (電灯) 現状のまま	P	6KV CVT38' (PE82)	高圧 ケーブル撤去、配管再使用
	1V 80' x 3 (C51)	P-1 再使用する		1V 250' x 3 (G82)	L-E (動力) 現状のまま			
	1V 5.5' x 3 (C25)	外灯 再使用する		1V 200' x 3 (C75)	L-E (動力) 現状のまま			
	1V 8' x 3 (C39)	外灯 再使用する		CPEV 0.9-75P (C63)	L-E (制御) 現状のまま			
	—C— (C39) x 2	外灯 現状のまま		CPEV 0.9-20P (C31)	L-D (制御) 現状のまま			
E	耐火 22' x 3 (C39)	再使用する	K	CPEV 0.9-20P (C31)	L-D (制御) 現状のまま	A	6KV EM-CET38' (既存PE82)	高圧 ケーブル新設、配管再使用
				CPEV 0.9-20P (C31)	L-D (制御) 現状のまま			
F	1V 150' x 3 E38' (C75)	L-C 現状のまま	L	CPEV 0.9-20P (C31)	L-D (制御) 現状のまま	記号	予備	配管再使用
				1V 30' x 3 E38' (C51)	L-D (電灯) 現状のまま			
G	1V 250' x 3 (C82)	L-E 現状のまま	記号	1V 150' x 3 (C75)	L-D (電灯) 再使用する	備考		
	1V 200' x 3 (C75)	L-F 現状のまま		1V 150' x 3 (C75)	L-D (電灯) 現状のまま			
	1V 150' x 3 (C75) x 2	L-D 再使用する						
	CPEV 0.9-75P (C63)	L-E 現状のまま						
	1V 30' x 3 E38' (C51)	L-D 現状のまま						
H	1V 30' x 3 (C39)	ELV 再使用する						

防火区画(面積区画)※階段室は壁区画
ただし機械室は消防上の防火区画

注記 既存CPEV配線は、2線式リコン配線に使用する。

(改修後) 機器容量・配線表

機器番号	機器名称	負荷容量	配線	配管	備考
R-1	空冷ヒートポンプユニット	3φ200V 34.4KW	EM-CET60' E14'	E63・配線ダクト	手元開閉器(屋外型・ELCB3P225AF/)、電源接続工事
EHP-1	ビル用マルチエアコン	3φ200V 16.7KW	EM-CET38' E8'	E63	手元開閉器(屋外型・ELCB3P100AF/)、電源接続工事
EHP-2	ビル用マルチエアコン	3φ200V 16.7KW	EM-CET38' E8'	E63	手元開閉器(屋外型・ELCB3P100AF/)、電源接続工事
EHP-3	ビル用マルチエアコン	3φ200V 39.4KW	EM-CET60' E14'	E63・配線ダクト	手元開閉器(屋外型・ELCB3P225AF/)、電源接続工事

凡例

シンボル	記号	名称	仕様	改修前	改修後
■		電灯 燈	L-A埋込型 (1100W x 1690H x 250D)	内部のみ撤去	内部のみ新設
■		電灯 燈	L-B埋込型 (1100W x 1290H x 250D)	内部のみ撤去	内部のみ新設
■		電灯 燈	L-D自立型 (1200W x 2250H x 400D)	内部のみ撤去	内部のみ新設
■		動力 燈	P-1自立型 (2400W x 2050H x 400D)	内部のみ撤去	内部のみ新設
■		動力 燈	消火栓自立型 (500W x 2050H x 400D)	内部のみ撤去	内部のみ新設
■		動力 燈	L-C自立型 (800W x 2050H x 400D)	内部のみ撤去	配線通過スペースとして使用
■		動力 燈	L-E自立型 (800W x 2000H x 400D)	内部のみ撤去	配線通過スペースとして使用
●	M	2線式リコンスイッチ	8L MM1-A2ケ用ボックス共		新設
□	CA	第1種金属継ぎ	MM1-A コーナーボックス		新設
●		ジャンクションボックス	VVF用中		新設

(改修後) 配線特記

- ケーブルに、損傷の恐れがある部分は、適合電線管にて保護する。
- 防火区画貫通部分は、両端1m、適合電線管(おなじし電線管)にて保護又は、国土交通省大臣認定(消防認定マーク)・防火措置工法用部材を使用(工法表示ラベル貼付け)、防火区画貫通を行う。
- 図中特記なき記号は下記による。

—Z—	EM-EFF2.0-3C	ころがし	新設
■			

- 備考
- 図中、薄い機器・器具・配管・配線は、既存品現状のままとする
 - 図中、配管配線撤去で、コンクリート内配管部分は、電線のみ撤去・配管は埋め殺しとする。
 - 図中、立上り下り・壁内配線は、適合電線管にて保護する。
 - 建築工事に於いて、壁・床撤去部分の配管は、建築工事の支障のない所で、切断・撤去を行う。

第一・護国共同企業体

(代表) (有)第一設計総合事務所
管理建築士一級建築士登録 第106046号 齊藤博

総括・一級建築士
第106046号
第一設計総合事務所
齊藤博

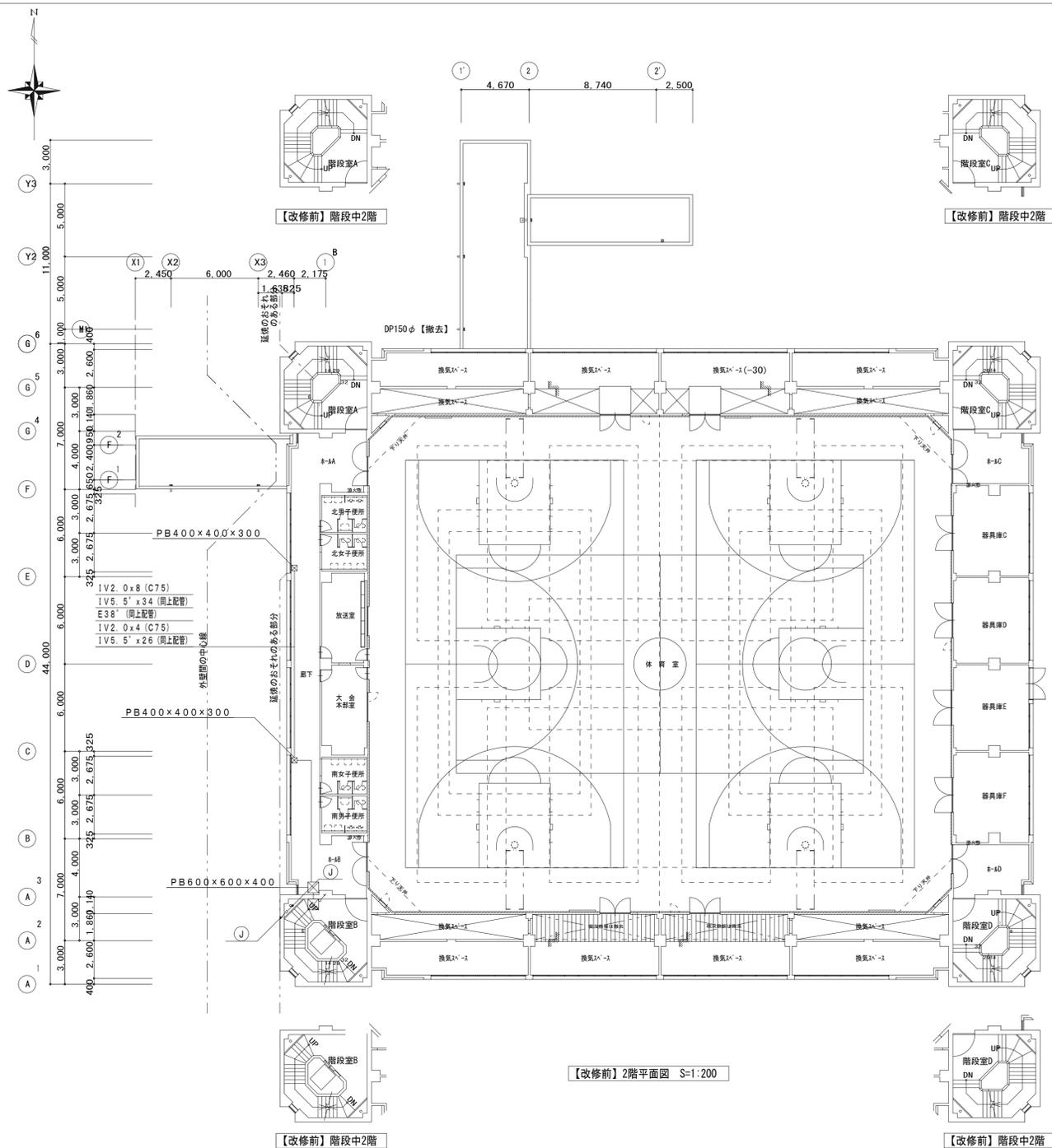
担当事務所長
基本・意匠・構造・設備
渡辺設備設計事務所
渡辺信行

工事名称
上越市総合体育館等大規模改修電気設備工事

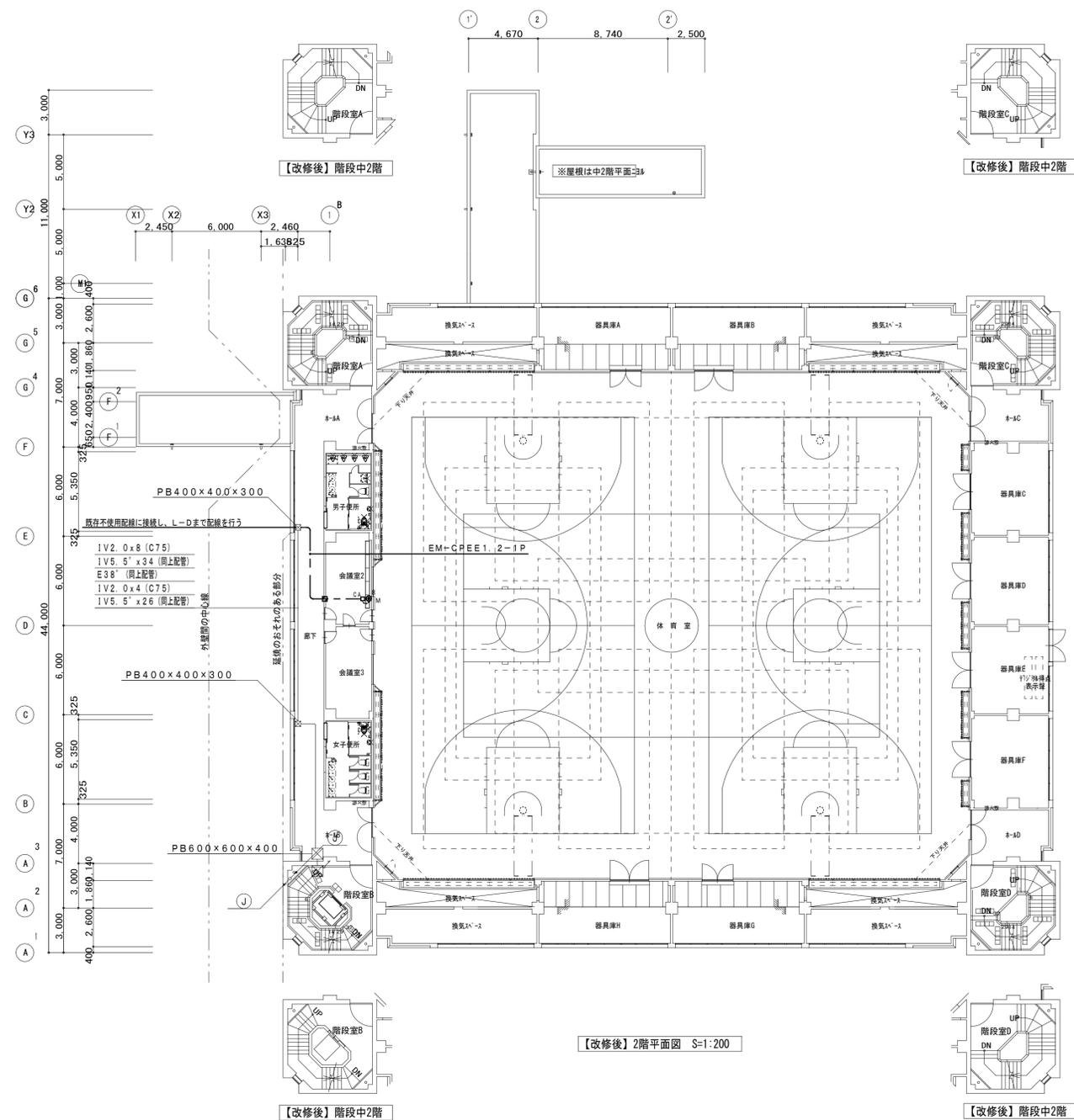
図面名称 上越市総合体育館・渡り廊下 【改修前・後】1階平面図
幹線設備図

縮尺 A1版 A3版
1/200 1/400
整理分類番号
図面番号
建・構・電・衛 総13
浄・厨・外・空 総58
合計枚数 枚

年月日 令和3年2月



【改修前】2階平面図 S=1:200



【改修後】2階平面図 S=1:200

- 備考
1. 図中、薄い機器・器具・配管・配線は、既存品現状のままとする
 2. 図中、配管配線撤去で、コンクリート内配管部分は、電線のみ撤去・配管は埋め殺しとする。
 3. 図中、立上り立下り・屋内配線は、適合電線管にて保護する。
 4. 建築工事に於いて、壁・床撤去部分の配管は、建築工事の支障のない所で、切断・撤去を行う。

第一・護國共同企業体
 (代表) (有)第一設計総合事務所
 管理建築士一級建築士登録 第106046号 齊藤博

総括・一級建築士
 第106046号
 (有)第一設計総合事務所
 齊藤博

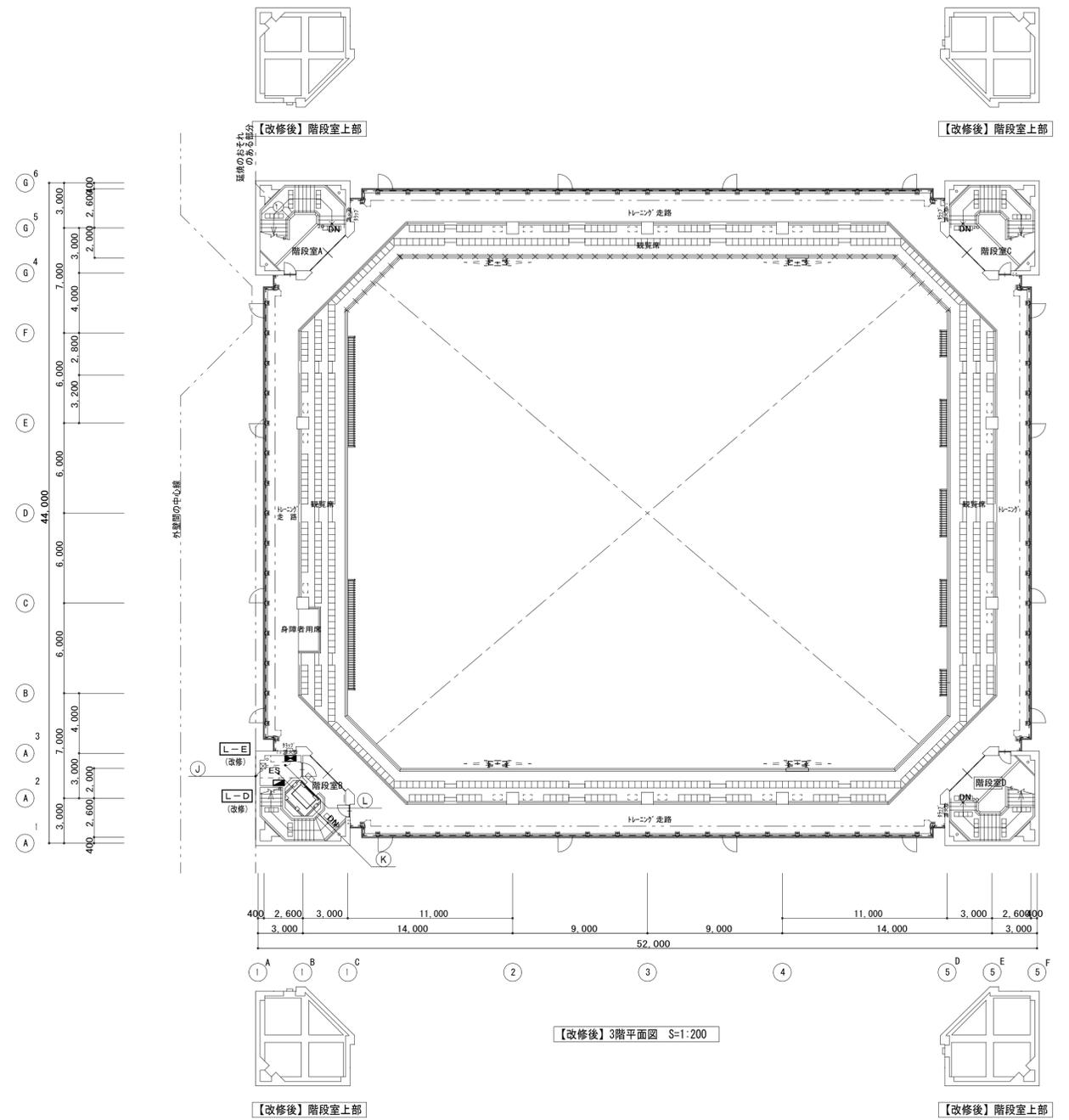
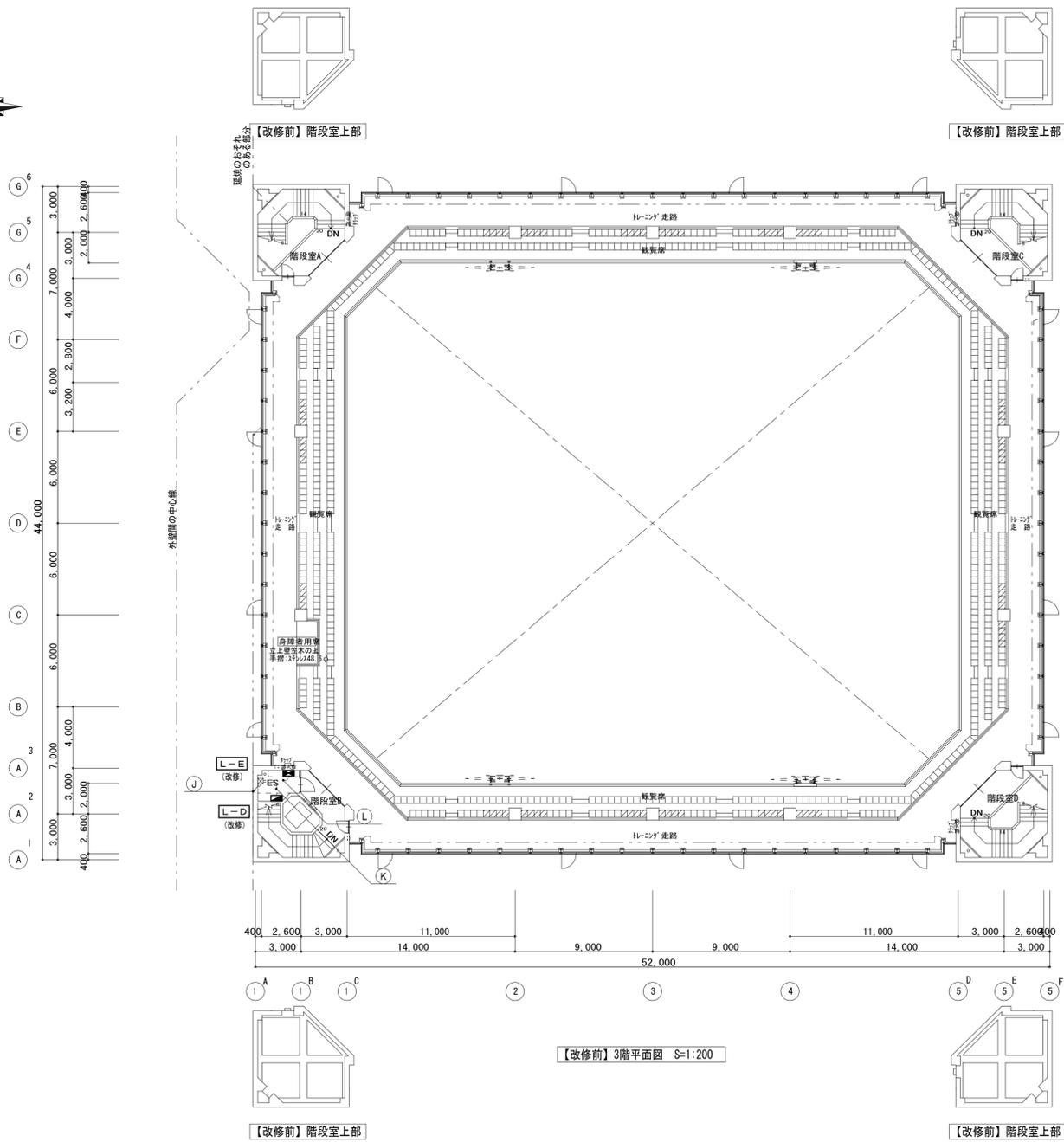
担当事務所長
 基本・意匠・構造・設備
 渡辺設備設計事務所
 渡辺 信行

工事名称
上越市総合体育館等大規模改修電気設備工事

図面名称 上越市総合体育館・渡り廊下 【改修前・後】2階平面図
幹線設備図

縮尺 A1版 A3版
 1/200 1/400
 年月日 令和3年2月

整理分類番号
 図面番号
 建・構・電・衛 総14
 浄・厨・外・空 総58
 合計枚数 枚



- 備考
1. 図中、薄い機器・器具・配管・配線は、既存品現状のままとする
 2. 図中、配管配線撤去で、コンクリート内配管部分は、電線のみ撤去・配管は埋め殺しとする。
 3. 図中、立上立下・屋内配線は、適合電線管にて保護する。
 4. 建築工事に於いて、壁・床撤去部分の配管は、建築工事の支障のない所で、切断・撤去を行う。

第一・護國共同企業体
 (代表) (有) 第一設計総合事務所
 管理建築士・一級建築士登録 第106046号 齊藤 博

総括・一級建築士
 第106046号
 (有) 第一設計総合事務所
 齊藤 博

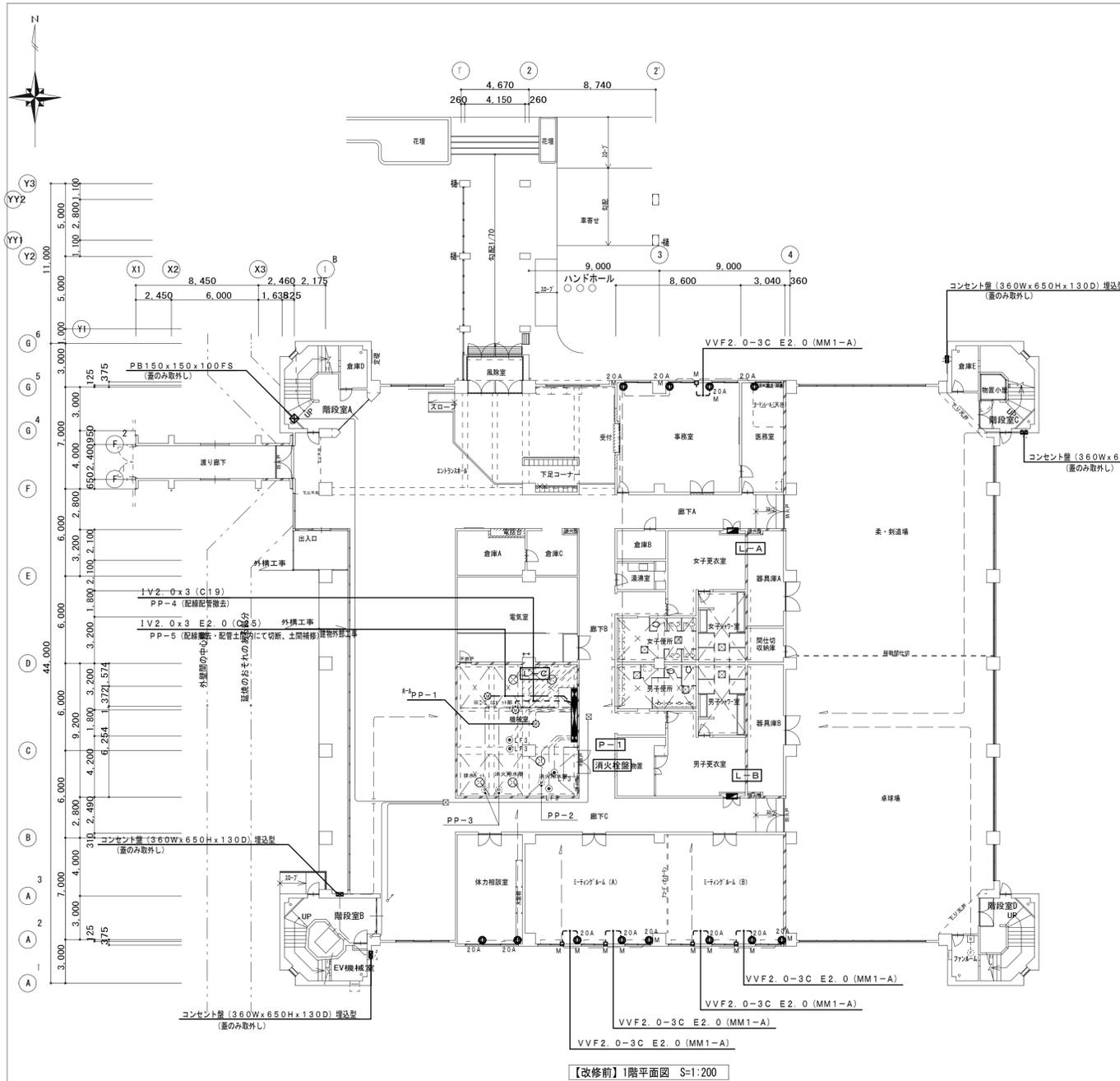
担当事務所長
 基本・意匠・構造・設備
 渡辺設備設計事務所
 渡辺 信行

工事名称
 上越市総合体育館等大規模改修電気設備工事

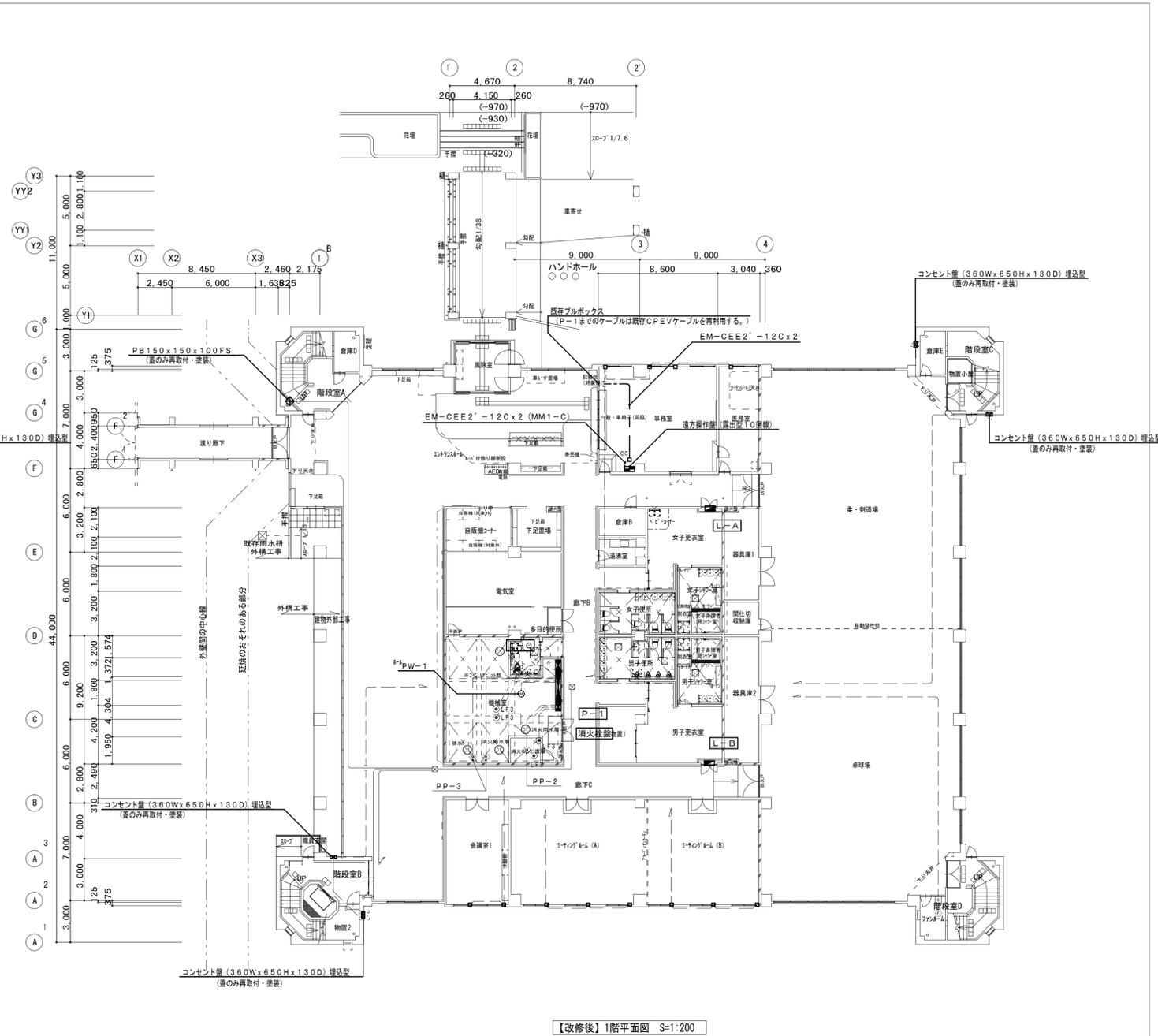
図面名称 上越市総合体育館・渡り廊下 【改修前・後】3階平面図
 幹線設備図

縮尺 A1版 A3版
 1/200 1/400
 年月日 令和3年2月

整理分類番号
 図面番号
 建・構・電・衛 総15
 浄・厨・外・空 総58
 合計枚数 枚



【改修前】1階平面図 S=1:200



【改修後】1階平面図 S=1:200

改修前凡例

シンボル	記号	名称	仕様	備考
⊙	PP-1	揚水ポンプ	3φ200V 3.7KW×2	機械設備工事(撤去) 既存配線再使用、結線撤去
⊙	PP-2	消火栓ポンプ	3φ200V 11.0KW	機械設備工事(再使用) 現状のまま
⊙	PP-3	排水ポンプ	3φ200V 0.75KW×2	機械設備工事(再使用) 現状のまま
⊙	PP-4	給湯循環ポンプ	3φ200V 0.2KW	機械設備工事(撤去) 配線配管撤去
⊙	PP-5	給湯循環ポンプ	3φ200V 0.4KW	機械設備工事(撤去) 配線配管撤去
⊙	LF3	電極(電極棒共)		機械設備工事(再使用) 現状のまま
⊙	20A	埋込コンセント	2P20A×1 E付 CP共	撤去
⊙	20A	埋込コンセント	2P20A×1 E付 MM1-A 1ヶ用ボックス共	撤去
□	M	第1種金属線び	MM1-A 1ヶ用ボックス+角ブラックプレート	撤去

改修後凡例

シンボル	記号	名称	仕様	備考
⊙	PP-1	自動給水ポンプ	3φ200V 1.5KW×2	機械設備工事(新設) 既存配線再使用、結線
⊙	PP-2	消火栓ポンプ	3φ200V 11.0KW	機械設備工事(再使用) 現状のまま
⊙	PP-3	排水ポンプ	3φ200V 0.75KW×2	機械設備工事(再使用) 現状のまま
⊙	LF3	電極(電極棒共)		機械設備工事(再使用) 現状のまま
□	cc	遠方操作盤	10回線 ON-OFF押ボタン PL付 銅板製 露出型 指定色塗装	新設
□	cc	第1種金属線び	MM1-C コーナーボックス	新設
□		プレート	角ブラックプレート	新設

防火区画(面積区画)※階段室は壁区画
ただし機械室は消防上の防火区画

備考
1. 図中、薄い機器・器具・配管・配線は、既存品現状のままとする
2. 図中、配管配線撤去で、コンクリート内配管部分は、電線のみ撤去・配管は埋め殺しとする。
3. 図中、立上り下り・屋内配線は、適宜電線管にて保護する。
4. 建築工事に於いて、壁・床撤去部分の配管は、建築工事の支障のない所で、切断・撤去を行う。

第一・護国共同企業体
(代表) (有)第一設計総合事務所
管理建築士一級建築士登録 第106046号 齊藤博

総括・一級建築士
第106046号
(有)第一設計総合事務所
齊藤博

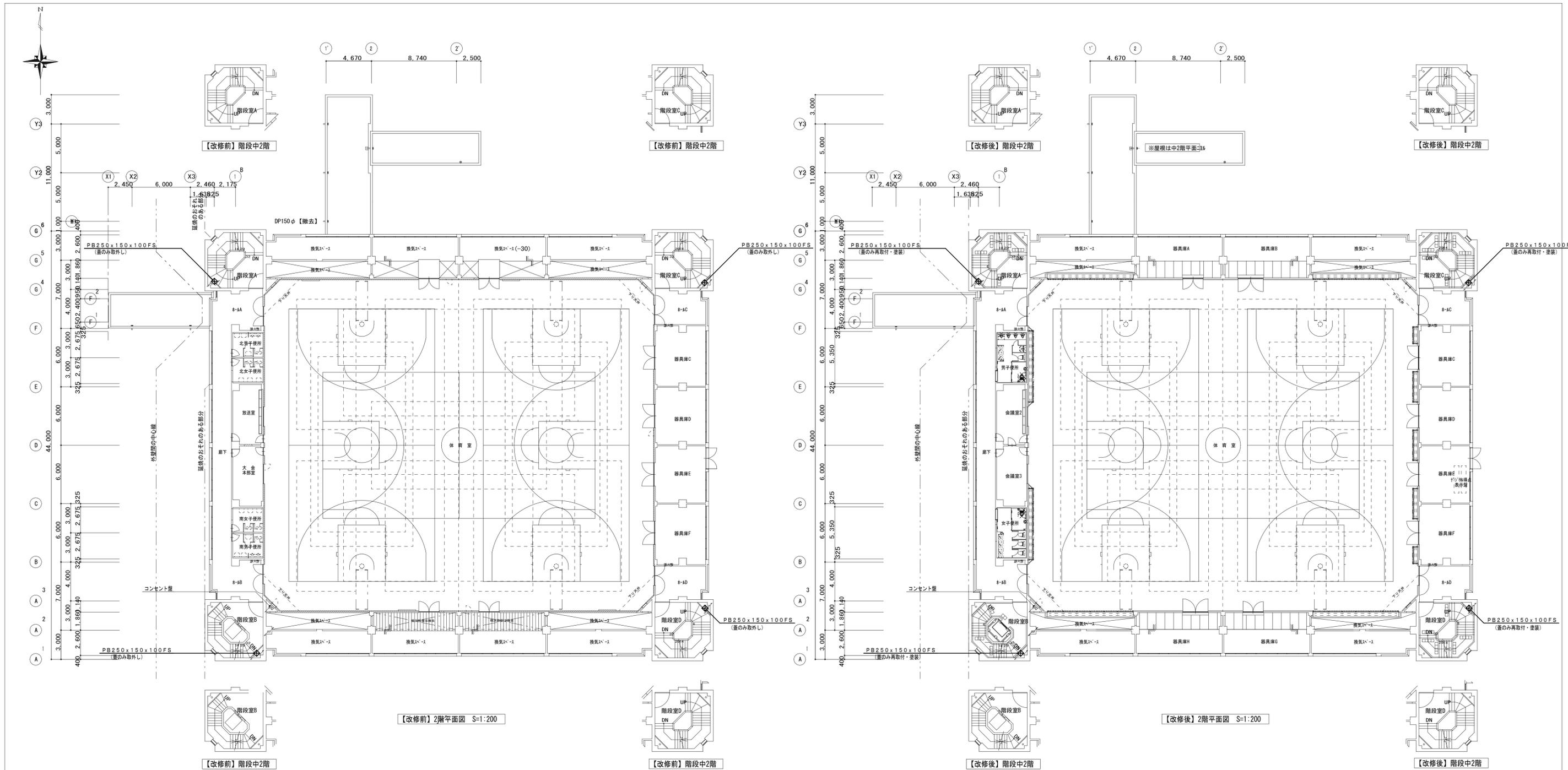
担当事務所長
基本・意匠・構造・設備
渡辺設備設計事務所
渡辺 信行

上越市総合体育館等大規模改修電気設備工事

図面名称 上越市総合体育館・渡り廊下 【改修前・後】1階平面図
動力設備図

縮尺 A1版 A3版
1/200 1/400
整理分類番号
図面番号
建・構・電・衛 総16
浄・厨・外・空 総58
合計枚数 枚

年月日 令和3年2月



- 備考
1. 図中、薄い機器・器具・配管・配線は、既存品現状のままとする
 2. 図中、配管配線撤去で、コンクリート内配管部分は、電線のみ撤去・配管は埋め殺しとする。
 3. 図中、立上り・屋内配線は、適合電線管にて保護する。
 4. 建築工事に於いて、壁・床撤去部分の配管は、建築工事の支障のない所で、切断・撤去を行う。

第一・護国共同企業体
 (代表) (有)第一設計総合事務所
 管理建築士一級建築士登録 第106046号 齊藤 博

総括・一級建築士
 第106046号
 (有)第一設計総合事務所
 齊藤 博

担当事務所長
 基本・意匠・構造・設備
 渡辺設備設計事務所
 渡辺 信行

工事名称
上越市総合体育館等大規模改修電気設備工事

図面名称 上越市総合体育館・渡り廊下 【改修前・後】2階平面図
動力設備図

縮尺	A1版 1/200	A3版 1/400	整理分類番号	図面番号
年月日	令和3年2月		建・構・電・衛 総17 浄・厨・外・空 総58	合計枚数 枚

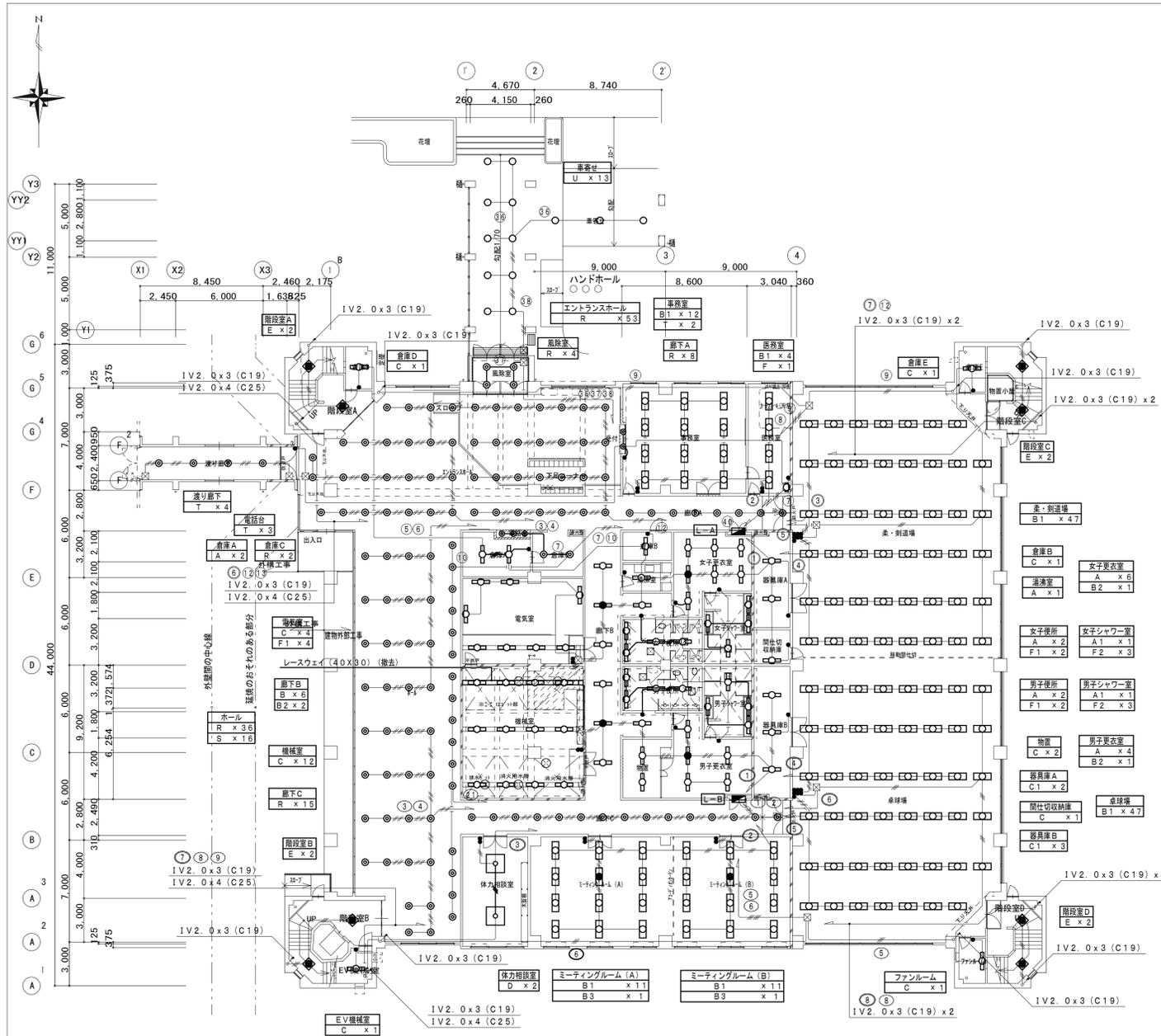
照明器具表

(参考とし、同等品以上とする)

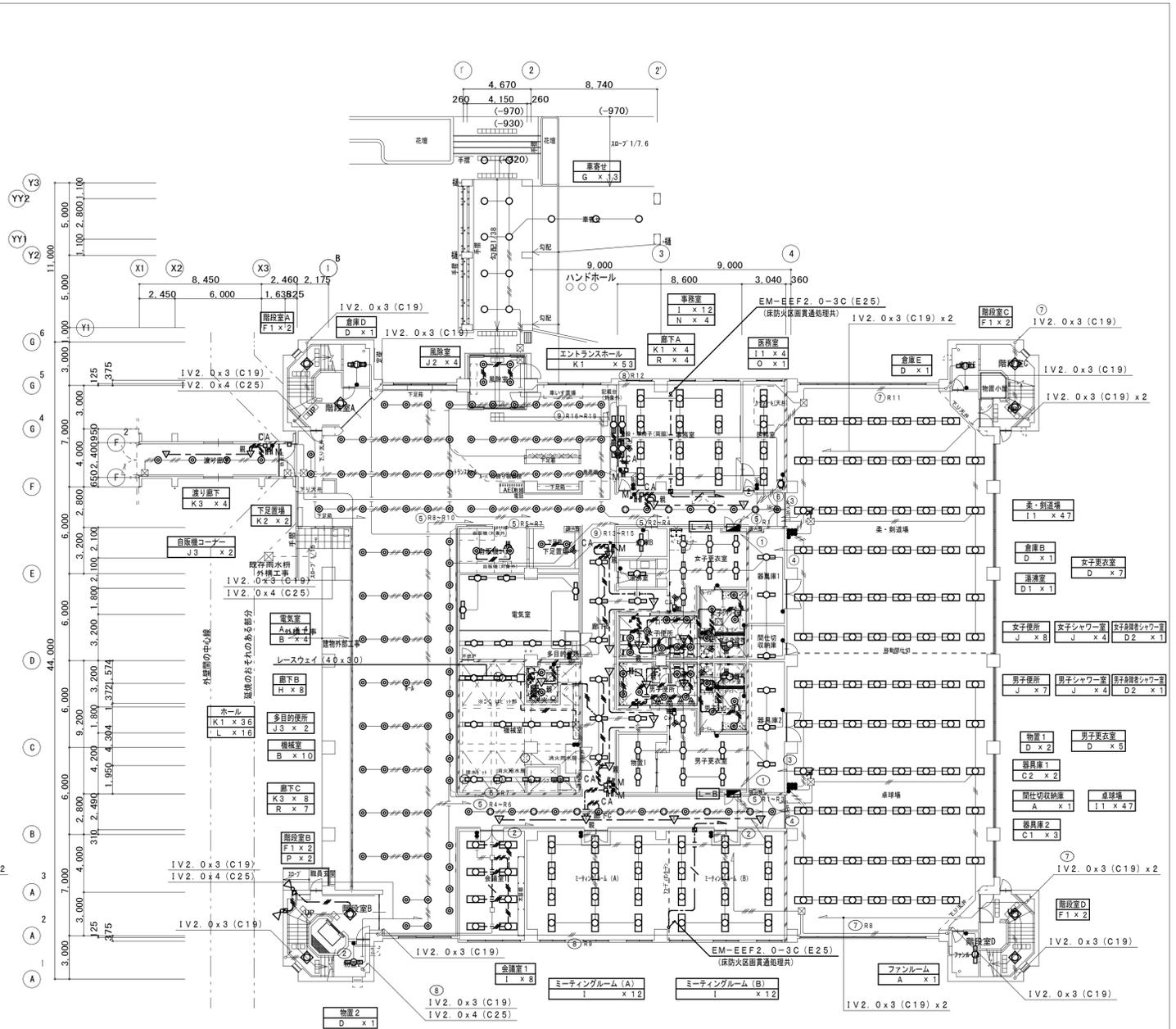
改修前照明器具 凡例

記号	名称	仕様	備考
A	照明器具	FL40W-1 直付型	撤去
A1	照明器具	FL40W-1 直付型(防水型)	撤去
B	照明器具	FL40W-1 埋込型(下面解放型)	撤去
B1	照明器具	FL40W-2 埋込型(下面解放型)	撤去
B2	照明器具	FL40W-1 埋込型(下面解放型)バッテリー内蔵型	撤去
B3	照明器具	FL40W-2 埋込型(下面解放型)バッテリー内蔵型	撤去
C	照明器具	FL40W-1 直付型(笠付)	撤去
C1	照明器具	FL40W-1 吊下型(笠付・パイプ吊)	撤去
C2	照明器具	FL40W-6 埋込型(下面ルーバー)	撤去
D	照明器具	FL20W-4 直付型(下面ルーバー)バッテリー内蔵型	撤去
D1	照明器具	FL20W-4 埋込型(下面ルーバー)バッテリー内蔵型	撤去
E	照明器具	FL20W-1 壁付型(ウォールライト)	撤去
E1	照明器具	FL40W-1 壁付型(ウォールライト)	撤去
F	照明器具	FL40W-1 壁付型(ウォールライト)防水型	撤去
F1	照明器具	FL10W-1 誘導灯(片面型)	撤去
F2	照明器具	FL20W-1 誘導灯(片面型)	撤去
F3	照明器具	FL10W-1 誘導灯(片面型)パイプ吊	撤去
F4	照明器具	FL10W-1 誘導灯(片面型)通路埋込型	撤去
F5	照明器具	FL10W-1 誘導灯(片面型)保護ガード付	撤去
F6	照明器具	HF400W 外灯(ポール4.5m・基礎共)	撤去
F7	照明器具	MF700W×2 NF400W×1 パンクライト(安定器・灯具共)	撤去
F8	照明器具	MF700W×2 NF400W×1 (安定器・灯具共)	撤去
F9	照明器具	IL40W 埋込型(ダウンライト)バッテリー内蔵	撤去
F10	照明器具	IL150W 埋込型(ダウンライト)	撤去
F11	照明器具	IL100W 埋込型(ダウンライト)	撤去
F12	照明器具	IL60W 埋込型(ダウンライト)	撤去
F13	照明器具	IL60W 直付型(防水型)	撤去
F14	照明器具	IL60W 直付型	撤去
F15	照明器具	IL60W 壁付型	撤去

A LED 2000Lmタイプ	B LED 2500Lmタイプ	C LED 2500Lmタイプ	D LSS9-4-23	E LSS6-4-37	F LSS15-4-58 半埋込取付
片反射笠付(壁付) 直付XLX410NENT+FSK41020	反射笠付(レースウェイ取付) 直付XLX420KENT	C1 LED 3200Lmタイプ C2 LED 4000Lmタイプ パイプ吊(1mタイプ) 直付XLX420KENT+高具FP101WW 直付XLX430KENT+高具FP101WW 直付XLX440KENP+高具FP101WW	D1 LSS9-4-30 D2 LSS9MP-4-30 		F1 LSS15-4-58 露出型取付
G LED 150wタイプ	H LED 2000Lmタイプ	I LED 4000Lmタイプ	J LRS1-05	K LRS1-08-リニューアル枠付	L LED200w形リニューアル枠付
軒下用 NNN54540B+NNU140167K	埋込幅190Wタイプ 埋込XLX410RENP	I1 LED 5200Lmタイプ 埋込幅300Wタイプ 埋込XLX440VENP 埋込XLX450VENT	J1 LRS1-08 J2 LRS1-13 J3 LRS1-22 	K1 LRS1-17 リニューアル枠付 K2 LRS1-22 リニューアル枠付 K3 LRS1-13 リニューアル枠付 	 NTS62053W
M LED (MF1000形相当)	N LSS1-4-30	O LED (FL20w-1相当)	P LED (RF150w-1相当)	Q LED (WB100w相当)	
既存水銀灯取付用取付枠ワイヤー吊り内に取付 無線調光対応型・落下防止ワイヤー共 EL-GT40110N/M NYM20145K		 LGB85037	防雨型・センサー式(点灯照度調整機能付) LGWC40114	天井直付型・壁直付型 NNN51800+LDG11D-G/95/W	
R ダウンライト塞ぎプレート			X LED 350形	Y LED (HF300形相当)	Z LED (HF250形相当) 2灯式
既存埋込200mm以下(125mm~200mmに対応) LEDX-70200			防雨型 XNW3581WV	片側遮光板・ポール(地上高4.5m)共 基礎(600x600x1.300)共 天板:アルミ(ミディアムグレーメタリック) アルミダイカスト(ミディアムグレーメタリック) NNY22691+YK34066K トクポールXY45500HN	遮光ルーバー前後左右用・ポール(地上高4.5m)共 基礎(600x600x1.300)共 落下防止ワイヤー共 天板:アルミ(ミディアムグレーメタリック) 本体:アルミダイカスト(ミディアムグレーメタリック) パネル:ポリカーボネート(透明つや消し) NNY24925×2台+NYD20015 NYD24501
調光コントローラー 露出取付用ボックス・防球ガード共 	調光器 4回線型 	調光リモコン 1台納入 			



【改修前】1階平面図 S=1:200



【改修後】1階平面図 S=1:200

改修前凡例

シンボル	記号	名称	仕様	備考
●		埋込スイッチ	1P15A×1 CP共	撤去
■		埋込スイッチ	1P15A×2 CP共	撤去
■		埋込スイッチ	1P15A×7 CP共	撤去
●		埋込スイッチ	3W15A×1 CP共	撤去
■		埋込スイッチ	1P15A×1+白熱灯用調光器 CP共	撤去
□		安定器		撤去

(改修前) 配線特記

1. 図中特記なき記号は下記による。

—	IV2.0x2	(C19)	いんべい	撤去
—	IV2.0x3	(C19)	いんべい	撤去
—	IV2.0x4	(C25)	いんべい	撤去

改修後凡例

シンボル	記号	名称	仕様	備考
●		埋込スイッチ	1P15A×1 CP共	新設
■		埋込スイッチ	1P15A×2 CP共	新設
■		埋込スイッチ	1P15A×7 CP共	新設
●		埋込スイッチ	1P15A×1 MM1-A1ヶ用ボックス共	CP共 新設
▽		人感センサー	広角観機	新設
▽		人感センサー	広角機	新設
▽		操作スイッチ	1回路用(自動・手動・切)	CP共 新設
▽		操作スイッチ	1回路用(自動・手動・切) MM1-A1ヶ用ボックス共	CP共 新設
□		第1種金属端子	MM1-A コーナーボックス	新設
□		位置ボックス	OB中形44 樹脂製	新設
○		露出ボックス	丸型 E25Φ2 方出	新設

(改修後) 配線特記

1. ケーブルに、損傷の恐れがある部分は、適合電線管にて保護する。
 2. 防火区画貫通部分は、両端1m、適合電線管(ねじなし電線管)にて保護又は、国土交通省大臣認定(消防認定マーク)・防火措置工法用部材を使用(工法表示ラベル貼付け)し、防火区画貫通を行う。
 3. 図中特記なき記号は下記による。

—	EM-EEF2.0-3C	ころがし	新設
—	EM-EEF1.6-2C×2	ころがし	新設
—	EM-EEF1.6-3C	ころがし	新設
—	EM-EEF1.6-2C	ころがし	新設
—	EM-EEF1.6-2C (MM1-A)	露出	新設
—	EM-EEF2.0-3C (E25)	露出	新設

注記: 記号は設置箇所を示し、大きさは真通配管による。

防火区画(面積区画)※階段室は堅穴区画
 ただし機械室は消防上の防火区画

備考
 1. 図中、薄い機器・器具・配管・配線は、既存品現状のままとする
 2. 図中、配管配線撤去で、コンクリート内配管部分は、電線のみ撤去・配管は埋め殺しとする。
 3. 図中、立上り下り・壁内配線は、適合電線管にて保護する。
 4. 建築工事に於いて、壁・床撤去部分の配管は、建築工事の支障のない所で、切断・撤去を行う。

第一・護国共同企業体

(代表) (有)第一設計総合事務所
 管理建築士一級建築士登録 第106046号 齊藤博

総括・一級建築士

第106046号
 (有)第一設計総合事務所
 齊藤博

担当事務所長

基本・意匠・構造・設備
 渡辺設備設計事務所
 渡辺 慎行

工事名称

上越市総合体育館等大規模改修電気設備工事

図面名称 上越市総合体育館・遊り廊下【改修前・後】1階平面図

電灯設備(電灯分岐)図

縮尺 A1版 A3版

1/200 1/400

年月日 令和3年2月

整理分類番号

図面番号

建・構・電・衛 総20
 浄・厨・外・空 総58

図面番号

合計枚数

枚